

「釧路湿原自然再生協議会」

## 第32回 再生普及小委員会

平成30年12月14日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局



釧路湿原自然再生協議会  
第32回 再生普及小委員会

日時：平成30年12月14日（金）14:00～15:30  
場所：釧路地方合同庁舎5階 第1会議室  
（釧路市幸町10丁目3番地）

----- 議 事 次 第 -----

- 1, 開会
- 2, 議事
  - 1) 再生普及小委員会の活動報告
  - 2) ウェブサイト等による情報発信について
  - 3) その他
- 3, 閉会

----- 配 布 資 料 -----

- ・ 議事次第
- ・ 再生普及小委員会 委員名簿
- ・ 第32回再生普及小委員会 出席者名簿
- ・ 第32回再生普及小委員会 資料
  - [資料1-1] 再生普及行動計画オフィス取組みについて
  - [資料1-2-1] 環境教育の取組み及び自然再生への  
参加機会の実施状況について
  - [資料1-2-2] 現地見学会等アンケート結果
  - [資料2-1] WEBサイトによる協議会からの情報発信について
  - [資料2-2] 現行WEBサイトのコンテンツ一覧
  - [参考資料1]  
「釧路湿原自然再生パネル」・「釧路湿原自然再生ガイドブック」  
英語版の作成について
  - [参考資料2] いい川・いい川づくりについて（標茶高校・環境コンサルタント(株)）
  - [参考資料3] 河川整備計画の見直しについて
- ・ 第31回再生普及小委員会ニュースレター
- ・ 第22回フィールドワークショップ案内
- ・ 意見・要望アンケート用紙



釧路湿原自然再生協議会  
再生普及小委員会 委員名簿

計:67名

■個人(28名)

(敬称略、五十音順)

No.	氏 名	所 属
1	石 岡 透	
2	伊 藤 毅	上智大学
3	甲 斐 田 直 子	筑波大学システム情報系 (社会工学域)
4	金 子 正 美	酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 教授
5	神 戸 忠 勝	
6	君 塚 孝 一	(有)自然文化創舎
7	木 村 勲	
8	小 松 繁 樹	
9	貞 國 利 夫	釧路市立博物館
10	佐 野 修 久	大阪市立大学大学院 都市経営研究科
11	清 水 信 彦	
12	新 庄 久 志	釧路国際ウェットランドセンター技術委員長(環境ファシリテーター)
13	杉 澤 拓 男	
14	高 嶋 八 千 代	
15	高 橋 忠 一	
16	竹 中 康 進	
17	橋 利 器	トラウトフォーラム会員
18	橋 治 國	特定非営利活動法人 水圏環境科学研究所 理事長
19	鶴 間 秀 典	
20	照 井 滋 晴	特定非営利活動法人 環境把握推進ネットワーク-PEG 代表
21	中 村 太 士	北海道大学大学院 農学研究院 教授
22	平 岡 俊 一	滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 准教授
23	蛭 田 眞 一	
24	松 本 文 雄	
25	矢 吹 哲 夫	酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 教授
26	吉 村 暢 彦	北海道大学環境科学院
27	渡 邊 剛 弘	上智大学
28	渡 辺 義 勇	

■団体(24名)

(敬称略、五十音順)

No.	団体/機関名	代表者名
1	阿寒国際ツルセンター (グルス)	主任解説員 河瀬 幸
2	釧路観光連盟	会長 中山 勝範
3	釧路国際ウェットランドセンター	理事長 蝦名 大也
4	釧路自然保護協会	会長 神田 房行
5	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 山岸 彬
6	釧路湿原国立公園連絡協議会	会長 蝦名 大也
7	釧路シャケの会	会長 小杉 和寛
8	釧路武佐の森の会	会長 大西 英一
9	こどもエコクラブくしろ	近藤 一燈美
10	公益財団法人日本鳥類保護連盟釧路支部	支部長 小柳 慶吾

No.	団体/機関名	代表者名
11	公益財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	チーフレンジャー 原田 修
12	公益財団法人北海道環境財団	理事長 小林 三樹
13	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 水環境保全チーム	上席研究員 村山 雅昭
14	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
15	塘路ネイチャーセンター	センター長 鷺見 祐将
16	特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所	理事長 赤松 里香
17	特定非営利活動法人 くしろ・わっと	理事長 小林 友幸
18	特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ	理事長 百瀬 邦和
19	特定非営利活動法人 鶴居タンチョウ元亀村	事務局長・理事 佐藤 吉人
20	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒澤 信道
21	北海道ウチダザリガニ防除ネットワーク	代表 高橋 克巳
22	北海道標茶高等学校	校長 三上 拓志
23	北海道プロフェッショナルフィッシングガイド協会	会長 テディ 齋藤
24	ボランティアネットワークチャレンジ隊	代表 佐竹 直子

■ オブザーバー(5団体)

(敬称略)

No.	団体/機関名	代表者名
1	釧路商工会議所	会頭 栗林 定正
2	釧路町商工会	会長 土井 茂人
3	標茶町商工会	会長 田中 進
4	弟子屈町商工会	会長 桐木 茂雄
5	鶴居村商工会	会長 大津 泰則

■ 関係行政機関(10機関)

(敬称略)

No.	団体/機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 伊藤 晃
2	環境省 釧路自然環境事務所	所長 安田 直人
3	林野庁 北海道森林管理局	局長 新島 俊哉
4	北海道 釧路総合振興局	局長 築地原 康志
5	北海道教育庁 釧路教育局	局長 鈴木 淳
6	釧路市	市長 蝦名 大也
7	釧路町	町長 小松 茂
8	標茶町	町長 佐藤 吉彦
9	弟子屈町	町長 徳永 哲雄
10	鶴居村	村長 大石 正行

「釧路湿原自然再生協議会」

## 第32回 再生普及小委員会

資 料

平成30年12月14日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局



## 目 次

### 【再生普及小委員会の活動報告】

資料 1-1	再生普及行動計画オフィス取組みについて	.....	1
資料 1-2-1	環境教育の取組み及び自然再生への参加機会の 実施状況について	.....	13
資料 1-2-2	現地見学会等アンケート結果	.....	29

### 【ウェブサイト等による情報発信について】

資料 2-1	WEBサイトによる協議会からの情報発信について	.....	33
資料 2-2	現行WEBサイトのコンテンツ一覧	.....	47

### 【その他】

参考資料 1	「釧路湿原自然再生パネル」・「釧路湿原自然再生ガイドブック」 英語版の作成について	.....	49
参考資料 2	いい川・いい川づくりについて（標茶高校・環境コンサル(株)） .....	.....	51
参考資料 3	河川整備計画の見直しについて（別紙）		



## 再生普及行動計画オフィス取組みについて

事務局として以下の取組みを実施した。

**1. ワーキンググループ等の開催**

- 第7回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ（以下 5 参照）
  - [日時] 平成30年8月1日（水）
  - [場所] 釧路地方合同庁舎4階第三会議室
  - [参加者] 13名
  - [議題] 1.第6回ワーキンググループ以降の取組み報告
  - 2.ウェブサイトによる情報発信について
  - 3.これからの取組予定
  
- 第8回 再生普及推進のための連携チーム会合
  - [日時] 平成30年11月22日（木）
  - [場所] 釧路地方合同庁舎7階第五会議室
  - [参加者] 15名
  - [議題] 1.環境教育の取組み及び自然再生への参加機会の実施状況について
  - 2.ウェブサイト等による情報発信について
  - 3.「釧路湿原自然再生パネル」の作成について
  - 4.「釧路湿原自然再生ガイドブック」の英語版作成について

**2. ワンダグリンド・プロジェクトの推進**

- ワンダグリンド・プロジェクト2017活動報告書の作成、配布
  
- ワンダグリンド・プロジェクト2018の活動支援  
ワンダグリンド・プロジェクト2018の参加者（60団体・個人、80取組み）に対して、以下の活動支援を行った。
  - ・イベント、パネル展での活動紹介
  - ・メールニュースでの活動情報発信
  - ・活動の場の提供、イベント等での支援
  
- フィールドワークショップの実施
  - 第21回フィールドワークショップ～体感！キラコタン岬
  - [日時] 日時：平成30年8月23日（木）
  - [場所] キラコタン岬から青沼
  - [案内人] 新庄久志氏（釧路国際ウェットランドセンター主任技術員）
  - [参加者] 22名

[アンケートより抜粋]

- ・湿地の感触や川のぬかるみなど実際に歩いて体験出来た事が非常に良かった。
- ・青沼まで行けると思ってもいなかったのもとても楽しい体験だった。
- ・湿原の魅力をより深く知る事が出来た。ガイドツアー等により釧路湿原の素晴らしさを広める事で保護にもつなげていきたい。
- ・はじめてキラコタンに入った。非常に綺麗でいつまでも残って欲しい自然だと思った。
- ・普段は入る事の出来ない場所に入る事が出来るとも貴重な体験が出来た。今日体験した事をみんなに話して釧路湿原を好きになってもらいたい。



次回のフィールドワークショップは2月5日(火)開催予定。

### 3. 情報発信・普及活動の拡充

#### ■ イベントへの出展、パネル展の開催

○くしろエコ・フェア 2018

[日時] 6月30日(土) 9:00~18:00

[会場] イオンモール釧路昭和1階専門店街サンコート広場

[内容] 自然再生事業紹介パネル、航空写真の展示、湿原クラフト体験教室、ジオラマ展示、羽ばたく折り鶴教室の実施



○釧路湿原自然再生パネル展「知ろう！学ぼう釧路湿原再生事業」

[期間] 7月17日(火)~7月26日(木)

[会場] 釧路市中央図書館7階 展示ホール

[内容] 釧路湿原自然再生事業パネル、湿原の生き物パネル、湿原流域地図、湿原クラフトの展示



○ミニ企画展「アイヌ民族と植物」

[期間] 9月9日(日)～10月8日(月・祝)

[会場] 温根内ビジターセンター

[内容] 松浦武四郎のフィールドノート「久摺日誌」に記されたアイヌ民族が利用していた植物を中心に植物標本等を紹介

[協力] 奥田幸子さん



○釧路市生涯学習フェスティバルまなトピア 2018

[期間] 11月10日(土)～11日(日) 10:00～16:00

[会場] 釧路市生涯学習センターまなぼっと幣舞

[内容] 釧路湿原流域航空写真、自然再生事業紹介パネルの展示、ペーパークラフト体験教室、ジオラマ展示、釧路湿原国立公園お話会の実施



■メールニュースの配信、施設等での掲示

■市町村広報誌、新聞等メディアへの情報提供、記事掲載

#### 4. 自然再生事業の現地見学会及び自然再生活動への参加機会づくり

自然再生事業地周辺の住民を主な対象として、自然再生事業についての理解促進を目的とした現地見学会を他小委員会と連携して開催した。またワンダグリンド・プロジェクトのうち自然再生への具体的な取り組みを行っている団体による市民参加の取り組みが行われた。

実施報告書及びアンケート結果は「資料 1-2」のとおり。

また、温根内ビジターセンター及び塘路湖エコミュージアムセンターに実施風景を掲示し情報発信を行った。

○市民参加の取り組み紹介写真展

[期間] 7月19日(木)～12月9日(日)

[会場] 温根内ビジターセンター、塘路湖エコミュージアムセンター

[内容] 環境教育、市民参加機会の実施状況について写真を掲示して紹介した他、チラシ、リーフレット等を配架し、予定されているイベント情報を発信した。



(塘路湖エコミュージアムセンター)



(温根内ビジターセンター)

「ワンダグリンド・プロジェクト 2018」参加者一覧

総数：60 団体（個人）80 取組み（協議会含む）、広報支援施設：9 施設

団体数	氏名・団体名	取組み概要	活動数	新規 or 継続
1	愛国幸恵町内会	釧路湿原や町内会周辺の身近な自然の写真や『ワンダグリンド☆ニュース』を町内会で回覧します	1	継続
2	アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことによりアピールします	2	継続
	アトリエ「アリス」	釧路に自生する植物を使ったアート作品の制作と発表	3	継続
		釧路川周辺の清掃活動を実施します	4	継続
3	イオン釧路店チアーズクラブ	環境学習	5	継続
4	イオン釧路昭和店チアーズクラブ	地域と自然環境について学んでいます	6	継続
5	伊勢 志郎	釧路湿原国立公園内の施設に来園記念の折鶴を提供しています。また、たんちょう釧路空港や丹頂鶴関連の施設にも提供しています。	7	継続
6	一般財団法人釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	～いきいき女性講座～ 「キラコタン岬とコッタロ湿原展望台から釧路湿原を眺めよう」	8	継続
	一般財団法人釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	～ふるさと講座～ 湿原ホテル講座 「釧路湿原の夜の隠れた風物詩を探ろう」	9	継続
	一般財団法人釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	～釧路学教養講座～ 「釧路湿原を訪ねて～キラコタン岬と自然再生地～」	10	継続
	一般財団法人釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	～まなぼつとわくわく体験隊～ 「森とあそぼう 2015」 (達古武で自然再生を考える調査体験)	11	継続
7	(NPO) 美しい村・鶴居村観光協会	タンチョウ、湿原による環境のPR及び「湿原マップ」の販売を行います	12	継続
8	(株) FMくしろ	放送を通じて、湿原の植物や昆虫、動物、歴史などをわかりやすく楽しく発信します	13	継続
9	大八木英雄	放置された釣糸の回収や清掃活動、達古武湖でのヒシ刈りを行います。また釧路湿原を歩いていて気付いた事を報告します	14	継続
10	お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」を販売します	15	継続
11	カヌープロ	カヌーを通じ自然の素晴らしさや釧路湿原の大切さを伝えます	16	継続
12	川口 秀人	湿原の様子を写真に収め、カレンダーにして掲示します	17	継続
13	環境コンサルタント株式会社	達古武湖でカヌー清掃&ヒシ料理試食会を実施します	18	継続
14	(NPO) 環境把握推進ネットワーク～PEG	釧路湿原に生息する希少動物や外来動植物に関する、学習会や講演会の実施	19	継続
15	喜多島 麻鈴	コンサートを通じて湿原をPRします	20	継続
16	(NPO) 霧多布湿原ナショナルトラスト	霧多布湿原の保全活動を通して、人との交流を深め湿原ファンを増やします	21	継続
17	釧路国際ウェットランドセンター	釧路川蛇行復元現場周辺の環境調査を地域の人々と一緒に行います	22	継続
	釧路国際ウェットランドセンター	湿地・生物多様性に係る途上国の行政官等を対象とした湿地保全やワイズユースに関する研修を実施します (JICAより委託)	23	継続
	釧路国際ウェットランドセンター	ホームページ等による釧路湿原の情報発信 (日本語・英語)	24	継続
18	釧路子ども劇場	温根内川でのザリガニ釣りによるウチダザリガニの駆除	25	継続

団体数	氏名・団体名	取組み概要	活動数	新規 or 継続
19	釧路自然解説員	「自然再生解説員」により釧路湿原や自然再生事業の取り組みを、細岡展望台を訪れる観光客を対象にわかりやすく解説します	26	継続
20	釧路湿原MTBクラブ	釧路湿原周辺の林道ツーリングを行います	27	継続
21	釧路湿原川レンジャー	釧路湿原や釧路川の観察活動および環境学習を通じて良好な河川環境の維持に務めます	28	継続
22	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	クリーンウォークの実施	29	継続
	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	ウチダザリガニ駆除調査	30	継続
	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	温根内木道定点解説	31	継続
23	釧路湿原国立公園連絡協議会	釧路湿原に関する情報を自然情報誌、ガイドマップ、ホームページなどで提供します	32	継続
	釧路湿原国立公園連絡協議会	温根内ビジターセンターと塘路湖エコミュージアムセンターで自然ふれあい行事を実施します。また来訪者に自然解説や情報提供を行います	33	継続
	釧路湿原国立公園連絡協議会	釧路湿原こどもレンジャー活動を実施します	34	継続
	釧路湿原国立公園連絡協議会	釧路湿原国立公園クリーンデーを実施します	35	継続
24	釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信します（会議公開、HP、ニューズレター発行）	36	継続
	釧路湿原自然再生協議会	学習会や講演会などを行います	37	継続
	釧路湿原自然再生協議会	市民参加の見学会を実施します	38	継続
	釧路湿原自然再生協議会	パネル展などを実施します	39	継続
	釧路湿原自然再生協議会	視察・研修などを受入れます	40	継続
	釧路湿原自然再生協議会	自然再生に関わる資料を発刊します	41	継続
25	釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	釧路湿原全国車いすマラソン大会を開催します	42	継続
26	釧路湿原マラソン実行委員会	釧路湿原マラソンを通じて湿原の美しさを参加者に伝えます	43	継続
27	釧路市中央図書館	釧路湿原に関する情報提供及び、関連講座や展示を通じた湿原の紹介をします	44	継続
28	釧路市立博物館	釧路湿原に関わる調査を行い、企画展示や観察会、講演会などで湿原の魅力を伝えます	45	継続
29	釧路シャケの会	シャケの稚魚の里親募集と放流式を実施します	46	継続
30	釧路短期大学	湿原をとりまく地域食材を使用した学生考案の「咲くサクッキー」を釧路全日空ホテルと連携して販売し湿原自然再生に還元します	47	継続
31	釧路走ろう会	釧路湿原マラソン大会をはじめ、練習会や個人で湿原の魅力を感じ爽やかな汗を流しながら走る仲間を募っています	48	継続
32	釧路ピラニアブラックス～早川&渡辺ペア～	釧路湿原を流れる釧路川のゴミ拾いと巡視	49	新規
33	釧路ボタニカルアートの会	釧路湿原の植物を描きます	50	継続
34	(株) 釧路マーシュ&リバー	釧路川カヌーツーリングや釧路湿原ネイチャーウォークなどの実施、釧路湿原の様子を画像発信するなど、全国そして全世界へ釧路湿原の魅力をお伝えます	51	継続

団体数	氏名・団体名	取組み概要	活動数	新規 or 継続
35	(NPO) 釧路湿原やちの会	釧路湿原の聖域キラコタン岬入口周辺の外来植物オオアワダチソウの駆除を行います	52	継続
36	こどもエコクラブくしろ	釧路湿原における特定外来生物の調査・防除活動	53	継続
37	小荷田 行男	釧路湿原とその周辺域の植物生態・自然史・鳥類生態の調査研究	54	継続
38	木幡 弥乃莉	『ワンダグリンダ☆ニュース』、ポスターやチラシなどのイラストを作成します	55	継続
39	一般社団法人釧路観光コンベンション協会	釧路湿原をはじめ釧路市の観光情報を発信します	56	継続
40	沢田建設株式会社	釧路湿原近郊の清掃活動（ごみ拾い）をします	57	継続
41	品田 忠	木の枝の作品作りや展示、木工教室を通し湿原からの水の大切さを伝えます	58	継続
42	上智大学 社会とエコロジー“リバーズ”	釧路湿原を軸に河川の環境保全、野生動物の保護活動などの取り組みを学びます	59	継続
43	シルバーシティときわ台ヒルズ	釧路湿原を学ぶ自然文化講座を実施します	60	継続
44	太平洋総合コンサルタント株式会社	標茶高校における体験型の環境教育の実施（野外での水質調査、生物調査を通して身近な環境を楽しみながら学ぶ）	61	継続
45	タクッパ（ペンネーム）	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介します	62	継続
46	竹中 康進	「羽幌みんなで作る自然空間協議会」によるビオトープづくりの取り組みを紹介します	63	継続
47	田中 道人	ドローンで湿原を撮影し、動画で紹介します	64	継続
48	(NPO) タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護に関する教育普及活動を行います	65	継続
49	辻野 正	釧路湿原の生き物の生態を紙細工で紹介합니다。その他作成指導や実演、完成品や作成キットの無料配布や展示を行います	66	継続
50	(株)鶴居村振興公社 鶴居村どさんこ牧場	北海道和種馬（通称どさんこ）による釧路湿原国立公園を含む地域でのホーストレッキングで多くの方々に地域の自然を楽しんで頂きます	67	継続
51	(NPO) トラストサルン釧路	ナショナルトラスト地の環境保全作業にボランティアの方と共に取り組み、湿原やトラスト地の観察会を行います	68	継続
52	(株)日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーマンズカード」利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会を通じて子供達の野外活動で役立つものを寄付します	69	継続
53	西村 咲輝	釧路湿原でのハードウォッチングを楽しみながら清掃活動を行います	70	新規
54	西村 孝広	釣りの自警活動の一環として釣り場周辺の清掃活動を行います	71	継続
	西村 孝広	オオハンゴンソウの駆除活動を行います	72	継続
55	(公財) 日本野鳥の会 鶴居・伊藤 タンチョウサンクチュアリ	タンチョウの冬季自然採食地の整備、普及教育、生息環境調査を行います	73	継続
56	北海道阿寒高等学校	「地域巡検」を実施し、釧路湿原の学習を中心にすえ自然の大切さを体験学習します	74	継続
57	ミュージックサロン・タジマ	カラオケ発表会を通して湿原のPRや募金活動を行います	75	継続
58	やちラボ	釧路湿原の旬の自然情報をワンダグリンダ事務局に届けます	76	継続
	やちラボ	釧路湿原の魅力を地元の人々や観光客に伝えます	77	継続
	やちラボ	釧路湿原に生息する「やちぼうず」の魅力をPRします	78	継続

団体数	氏名・団体名	取組み概要	活動数	新規 or 継続
59	雷別ドングリ倶楽部	シラルトロ湖上流の立枯れ被害にあった森林で市民参加型の自然再生事業を行います	79	継続
60	酪農学園大学 環境地球科学研究室	釧路湿原における物質循環についての研究	80	継続
60 団体・個人/80 取組み				

施設数	施設名	広報支援	新規 or 継続
1	釧路市民活動センターわっと	ワンダグリダニュースの掲示、ポスター掲示	継続
2	釧路町温水プール	ワンダグリダニュースの掲示、イベントポスター、チラシ掲示	継続
3	釧路町地産地消センターロ・バザール	イベントポスター、チラシ	継続
4	釧路町総合体育館	ワンダグリダニュースの掲示、イベントポスター、チラシ	継続
5	達古武オートキャンプ場	ワンダグリダニュースの掲示、イベントポスター、チラシ	継続
6	細岡ビジターズラウンジ	ワンダグリダニュースの掲示、イベントポスター、チラシ	継続
7	標茶町郷土館	ワンダグリダニュースの掲示、イベントポスター、チラシ	継続
8	豊文堂書店北大通店	ワンダグリダニュースの掲示、イベントポスター、チラシ掲示	継続
9	企業組合ウェルフェアグループ	ワンダグリダニュースの掲示、イベントポスター、チラシ掲示	継続
9 施設			

#### ○ワンダグリダ・プロジェクト 参加団体・活動の推移

(2005 38 団体・39 取組)  
 ※事務局事業等も含んだ数字  
 2006 31 団体・49 取組  
 2007 35 団体・61 取組  
 2008 42 団体・75 取組  
 2009 47 団体・82 取組  
 2010 45 団体・76 取組  
 2011 47 団体・75 取組

2012 57 団体・74 取組  
 2013 53 団体・80 取組  
 2014 57 団体・79 取組  
 2015 57 団体・77 取組  
 2016 60 団体・81 取組  
 2017 60 団体・81 取組  
 2018 60 団体・80 取組

### 5. 学校支援ワーキンググループの取組み課題の実践

#### ■取組み課題1 「湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進」

幌呂地区湿原再生事業地を主なフィールドとして、同事業地事務局と連携し、フィールドの踏査、学校における実践の取材を行った。また、2017 年度に「フィールド情報マップ」(kushiro-ee.jp/fieldmap/) に掲載した達古武地区森林再生事業地を活用した実践を学校と協働で企画し、学習素材の活用促進を図った。

学校教員との意見交換を経て、「フィールド情報マップ」および「湿原学習の支援事例」(WEBサイト) へのとりまとめを行う。

■ 取組み課題2 「自然再生の学校教育への活用促進」

○ 達古武地区自然再生事業地を活用した教員研修講座の企画

- ・ 釧路町教育研究所理科部会との共催教員研修講座 (9月11日 (火))



○ 達古武地区自然再生事業地を活用した実践コーディネート

- ・ 釧路湖陵高等学校SSH事業「KCS基礎」における釧路湿原巡検1年生 (6月26日 (火))



- ・ 釧路町立昆布森中学校全校生徒 (10月15日 (月))



- ・標茶町立標茶小学校5年生（6月1日（金））



○幌呂地区湿原再生事業地を活用した実践コーディネート

- ・鶴居村立鶴居小学校3年生（10月19日（金））



次年度における教育委員会等と連携した研修講座の実施、新たな実践づくりに向けて、関係者との意見交換、調整を行う。

■取組み課題3「学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及」

○教員研修講座の企画

- ・釧路教育研究センター共催教員研修講座（6月27日（水））



- ・標茶町教育研究所理科部会との共催教員研修講座（7月2日（月））



○学校における実践の支援

- ・釧路町立塘路小中学校全校生徒（6月8日（金））
- ・釧路湖陵高等学校1年生（6月22日（金）、8月31日（金））
- ・釧路市立中央小学校5年生（7月10日（火））
- ・釧路町立別保小学校3年生（7月13日（金））
- ・標茶町立標茶小学校5年生（9月20日（木））
- ・釧路町立昆布森中学校全校生徒（10月9日（火））
- ・鶴居村立鶴居小学校4年生（10月25日（木））
- ・鶴居村立幌呂小学校3,4年生（10月26日（金））
- ・鶴居村立鶴居小学校3年生（10月30日（火））



○釧路湿原流域環境を題材とした実践等の発表の場作り、学びのプロセスの支援  
標茶町立標茶小学校、北海道教育大学釧路校（境教授）との連携による実施



○WG の取組みの広報

- ・流域の教育委員会の協力を得たワーキングの取組み周知（チラシの作成・配布等）
- ・ビジターセンター等でのチラシ配架、施設指導員から来訪校への広報（依頼）
- ・標茶町教育研究所理科部会研修参加者への説明
- ・釧路町教育研究所理科部会研修参加者への説明
- ・釧路教育研究センター共催教員研修講座参加者への説明

次年度における教育委員会等と連携した研修講座の企画、学校における実践の促進に向けて、取組みの広報、関係者との意見交換、調整を行う。

## 環境教育の取組み及び自然再生への参加機会の実施状況について

再生普及行動計画オフィス

6月から11月の期間中、自然再生協議会角小委員会及びワンダグリンド・プロジェクト登録団体が実施した市民参加の取組みは以下のとおり。

開催日	イベント名	主催	実施報告書	アンケート
5月30日(水) 8:45~16:00	平成30年度 第1回 雷別ドングリ倶楽部(植樹、ツリーシェルの設置)	釧路湿原森林ふれあい推進センター	○	○
6月9日(土) 8:45~16:00	雷別へ植樹へ行こう!	釧路湿原森林ふれあい推進センター	○	○
6月23日(土) 8:30~14:30	みんなで調べる復元河川の環境 ・2018夏	釧路国際ウェットランドセンター	○	○
7月1日(日) 9:00~12:30	タンチョウの冬の食事場所を作ろう	鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	○	○
7月18日(水) 8:45~16:00	平成30年度 第2回 雷別ドングリ倶楽部(達古武再生委事業地見学)	釧路湿原森林ふれあい推進センター	○	○
7月25日(水) 9:00~15:00	幌呂地区湿原再生現地見学会	湿原再生小委員会事務局 (釧路開発建設部治水課)	○	○
7月29日(日) 10:00~12:00	特定外来生物ウチダザリガニ捕獲&試食体験	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会、こどもエコクラブくしろ	○	×
9月12日(水) 8:45~16:00	平成30年度 第3回 雷別ドングリ倶楽部(釧路川源流部自然観察)	釧路湿原森林ふれあい推進センター	○	○
9月15日(土) 9:00~15:30	釧路高専、西松建設、Nネット連携によるCSR活動	釧路湿原森林ふれあい推進センター	○	○
9月19日(水) 9:00~15:30	久著呂川自然再生の見学ツアー	土砂流入小委員会事務局 (釧路建設管理部治水課)	○	○
9月22日(土) 8:15~15:30	みんなで調べる復元河川の環境 ・2018秋	釧路国際ウェットランドセンター	○	○
9月22日(土) 10:00~12:00	カヌーで清掃 IN 達古武湖	環境コンサルタント株式会社	○	○
10月8日(月・祝)	カヌーdeヒン刈り!自然を楽しむin 達古武湖	環境省釧路自然環境事務所	○	×
11月29日(木)	自然再生現地見学会	水循環小委員会 (釧路開発建設部治水課)	○	○

## 実施報告書

日	時：平成 30 年 5 月 30 日（水） 9：00～16：00
場 所	雷別地区自然再生事業地（根釧西部森林管理署 293 林班／川上郡標茶町雷別）
主 催 者	林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター
行 事 名	第 1 回「雷別ドングリ倶楽部」
参加者人数	13 名
取組の概要	<p>「雷別ドングリ倶楽部」は、国有林をフィールドとして自然再生に取り組むボランティア団体で、今年度第 1 回目となる今回は、笹地 11 でハルニシ・ヤチダモ・ミズナラ 150 本を植樹しました。また、午後からは、植栽木をウサギ等の野生生物による食害から保護するため、保護管（ツリーシェルター）で被覆しました。</p>
	
主催者の感想	<p>当日は季節外れの陽気で、参加した会員の皆様は慣れた手つきで、次々と植付けや保護管の被覆を行い、自然再生事業地で心地良い汗をかかれています。</p>

## 実施報告書

日	時：平成30年6月9日（土）9：00～16：00
場	所：雷別地区自然再生事業地（根釧西部森林管理署 293 林班／川上郡標茶町雷別）
主	催 者：林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター
行	事 名：「山の日」記念「雷別へ植樹に行こう！」
参加者人数：24名	
取組の概要	<p>この催しは、雷別国有林の自然再生を地域住民と協働で取組むもので、当日は笹地 11 でハルニレ・ヤチダモ・ミズナラ 150 本を植樹するとともに、植栽木をウサギ等の野生生物による食害から保護するため、保護管（ツリーシェルター）で被覆しました。</p>
	
主催者の感想	<p>植栽箇所は笹根や根株が多く、参加いただいた地域住民の皆様は、苗木を植える穴掘りに大変難儀されていました。また、ツリーシェルターの設置では、杭や組立てた筒を運ぶのに、何回も坂道を往復する等、苦労等々されていました。</p>

## 実施報告書

日時：平成30年6月23日（土） 10:00～14:00		
場所：釧路川茅沼地区		
行事名：みんなで調べる復元河川の環境・2018夏		
主催者：釧路国際ウェットランドセンター		
参加者人数：18名（関係者含む）		
<b>取組の概要</b> 参加者の皆さんと、釧路川の蛇行復元河道から自然河道へ続く左岸 1.3 kmの水生生物、堆積土壌、植生を調べました。水生生物班は、「どう」やタモ網で魚類や甲殻類捕獲し、種を確認しました。植生・土壌調査班は、河道復元後に新しく形成された砂州の土砂堆積と大きさを計測後、砂州に設置した区画内の植生を調べました。調査後に全員で調査結果の確認と、過去のデータとの比較を行いました。		
		
土壌調査	植生調査	水生生物調査
<b>主催者の感想</b> 今年度は初めて砂州の植生調査を実施しました。堆積している土壌、地下水位の深さにと もない、成立する植物群落の構成に変化があることを確認でき、非常に興味深い結果が明 らかになりました。 普及啓発とモニタリング双方に資する事業として、今後も同様の調査を続けていきたいと 考えています。		

## 実施報告書

日 時：2018年7月1日（日）9:00～12:30

場 所：鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ（ネイチャーセンター）、  
旧雪裡2号採食地

主 催 者：鶴居伊藤タンチョウサンクチュアリ

行 事 名：クレインズの選手と一緒にタンチョウの冬の食事場所をつくろう 2018

参加者人数：26名

### 取組の概要

当イベントは、アイスホッケーのプロチーム「日本製紙クレインズ」の選手と鶴居村の子どもたちが協力し、自然採食地（タンチョウが冬に自然の餌を採れる場所）の維持管理を行う活動です。完成した自然採食地は、数年で林内や河川への倒木が増え、草本や低木も繁茂します。タンチョウが餌を食べやすい環境になるように河川にかかる倒木の処理を行ったり、自然採食地を出入りできるように低木を切るなどの管理作業を進めています。



### 主催者の感想

クレインズの選手と鶴居村の子どもたちが活動するこのイベントは、今年で7回目を迎えました。力持ちのクレインズの選手と元気あふれる子どもたちの作業により、あっという間に開けた空間ができました。餌が食べやすい環境になったこの自然採食地を、今年の冬もタンチョウは利用してくれることと思います。今後も多くの人にタンチョウのことを広め、地域一体となった保護活動を進めていけるよう、自然採食地の整備に取り組みます。

## 実施報告書

日	時：平成30年7月18日（水）9：00～16：00
場	所：達古武地区森林再生事業地（釧路郡釧路町達古武）
主催者	：林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター
行事名	：第2回「雷別ドングリ倶楽部」
参加者人数	：12名
取組の概要	<p>今年度第2回目の活動は、環境省釧路自然環境事務所が、森林再生に取り組んでいる「達古武地区森林再生事業地」（釧路町達古武）を見学しました。</p> <p>当日は、同事務所のご担当者から、当該事業の目的を始めとして、広葉樹苗木の育成や森林再生等について、現地を見学しながらご説明をいただくとともに「森林と湿原のつながり」のご説明もあり、会員は熱心に聞き入っていました。</p>
	 
主催者の感想	<p>午後からは「達古武遊歩道」で、湿原に咲くオオウバユリ、ホザキシモツケ、チシマアザミ等の初夏の花々を観察しながら展望台まで散策しました。夢ヶ丘展望台からは、釧路湿原の雄大な景観が眺めることができ、会員の皆様は「森林と湿原のつながり」を実感された様子でした。</p>

## 実施報告書

日時：平成30年7月25日（水） 9:00~15:00

場所：幌呂地区湿原再生区域（鶴居村 下幌呂）

行事名：幌呂地区湿原再生現地見学会

主催者：湿原再生小委員会事務局（釧路開発建設部治水課）

参加者人数：25名

### 取組の概要

自然再生事業を広く一般市民に理解してもらうため、「幌呂地区湿原再生」箇所の見学と、湿原を代表する植物であるヨシの移植体験、ハンノキの調査及びハンノキ環状剥皮（巻き枯らし）の体験を行いました。



シャベルで穴を掘り、小さいヨシの苗 555 本移植しました。



ハンノキの調査（樹高・周囲長・萌芽本数・根の高さ等）を行い、生長の度合いを確認しました。



ハンノキを葉から根までの水や栄養を遮断して枯死させるため、樹皮を環状に剥ぎました。

### 主催者の感想

今年で6回目の開催となり、25名の方にご参加していただきました。道外からの長期滞在者の方、また今年は小学生など学生の参加者もいました。中学生からヨシ移植について「これからヨシなどが増えてそこに住む生き物たちも増えてほしい」というコメントがありました。これからも幅広い年代に自然再生に興味を持ってもらえるよう見学会を継続していきたいと考えております。

# 実施報告書

日	時：平成30年7月29日（日）10：00～12：00
場	所：温根内ビジターセンター周辺
行 事 名	：親子で参加！ウチダザリガニ捕獲&試食体験
主 催 者	：釧路湿原国立公園ボランティア・レンジャーの会、こどもエコクラブくしろ

参加者人数：親子12組38名、北海道新聞、釧路新聞、朝日新聞の記者

## 取組の概要

釧路湿原の自然環境に影響をあたえている特定外来生物ウチダザリガニ。この問題を多くの方に知ってもらうことを目的に、一般参加者を募って捕獲&試食体験をしました。

### 1 しる！

いったいどんな生きもの？どんな悪さをしてる？  
手作りの紙芝居でわかりやすく紹介しました。

＼新ビジターで初開催！／



### 2 とる！

前日しかけておいたカゴ網は、参加組数にあわせ12個！一家族につきひとつ引きあげました。

＼重いつ！／



＼怖くな〜い♪／



### 3 しらべる！

138匹もの捕獲に成功！体長や体重を計測し、性別の見分け方もマスターしました。オス55匹、メス83匹。残念ながらニホンザリガニは0匹。

＼大きい！／



### 4 たべる！

薪ストーブが登場！外来生物とはいえ大事な命。そまつにしないよう塩ゆでしていただきました。みんなヤミツキに！

＼おいしーい！／



## 主催者の感想

外来生物の問題は、多くの市民の理解と参加がなければ解決できません。これからも皆さんと一緒に見る、触れる、学ぶ、そして湿原を守る機会をつくっていきたいです。

## 実施報告書

日	時：平成30年9月12日（水）9：00～16：00
場	所：玉川大学北海道弟子屈農場（川上郡弟子屈町美留和）
主 催 者	：林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター
行 事 名	：第3回「雷別ドングリ倶楽部」
参加者人数	：16名
取組の概要	<p>今年度第3回目の活動は、「玉川大学北海道弟子屈農場」を訪ね、釧路川源流部に位置する同大学研究林で自然観察を行いました。</p> <p>当日は、同大学美留和晴耕塾のご担当者から、当該施設や研究林の概要を始めとして、地勢や動物・植生等について、現地を散策しながら解説いただきました。</p>
	 
主催者の感想	<p>解説に当たっては、国外のものを例示いただく等、専門的な説明と併せて質問にも回答いただき、会員からは「今後の森林づくり活動に参考となるお話を聞くことができ、大変勉強になった。」等の感想があり、大変有意義な一日となりました。</p>

## 実施報告書

日	時：平成 30 年 9 月 15 日（土）9：00～15：00
場 所	雷別地区自然再生事業地（根釧西部森林管理署 293 林班／川上郡標茶町雷別）
主 催 者	林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター
行 事 名	産学官が連携した自然再生の取組み
参加者人数	46 名
取組の概要	<p>この催しは札幌市に支店をおく企業が、これまで主に道央で実施してきた社会貢献活動について、平成 29 年度から「雷別地区自然再生事業地」で、企業・高専・当センターが連携して、自然再生に取り組んでいるものです。</p> <p>2 年目となる今年度は、笹地 11 でハルニシ・ヤチダモ・ミズナラ 200 本を植樹するとともに、植栽木をノウサギ等の野生生物による食害から保護するため、保護管（ツリーシェルター）で被覆しました。</p>
	
主催者の感想	<p>現地は笹根や根株が多く、苗木を植える穴掘り等に、参加いただいた皆様にご苦勞をおかけしました。</p> <p>また、「学生とともに社会貢献活動ができ、楽しい時間が過ごせました。」等の感想があり、参加いただいた皆様にとって、充実した一日となったようです。</p>

## 実施報告書

日時：平成30年9月19日（水）9：00～16：30

場所：久著呂川の土砂流入対策箇所等（鶴居村・標茶町）

行事名：久著呂川自然再生の見学ツアー

主催者：土砂流入小委員会事務局（釧路建設管理部治水課）

参加者人数：8名

### 取組の概要

久著呂川の上流、中流、下流を順番に巡り、釧路湿原への土砂流入対策の現状や河川環境の回復状況について、見学やモニタリングを体験するツアーです。流域の美しい景観を望んだ後、川に入って箱メガネを用いて川の中を泳ぐ魚類の観察などを行いました。湿原流入部では人工ケルミや湿原流入部の河川の状況を見学しました。



### 主催者の感想

今回見学会は当初8月25日（土）に開催予定だったものが、台風接近のため延期となってしまいましたが、当日は天候も良く、上流域では雄阿寒岳・雌阿寒岳の雄大な景観を眺め、また川の中に入り実際に泳いでいる魚類の観察を行うことができました。移動中の車内でのクイズや見学箇所の説明を通じ、土砂流入対策などの釧路湿原の自然再生事業について理解を深めていただけたと感じています。

## 実施報告書

日 時：2018年9月22日（土） 10：00～12：00

場 所：達古武オートキャンプ場

行 事 名：カヌーDE 清掃 IN 達古武湖

主 催 者：環境コンサルタント株式会社

参加者人数：11名

### 取組の概要

釧路湿原に生息する動植物の解説やワンドグリンダの取組みについて参加者に説明を行い、今年は4艇のカヌーに乗船し達古武湖のゴミ拾いを行いました。

カヌー清掃後にヒシが有効利用可能な食材であることを知ってもらうため、達古武湖で採取したヒシの実を使った「ヒシ入りいも団子」「ヒシ入りパン」をその場で焼いて、ヒシの試食を行いました。



カヌーに乗ってゴミ拾い



参加したみなさん



ヒシ入りいも団子



ヒシ入りパン

### 主催者の感想

今年は小雨の中、11名の参加者が4艇のカヌーに乗船し達古武湖のゴミ拾いを行いました。今年はゴミが少なく、ゴミ拾い活動を続けてきた事が少しでも湿原保全に貢献できていればと思います。今回MY 箸、MY お皿を持参していただき、ゴミを出さないよう呼びかけました。ヒシの実は初めて食べる方、リピーターの方からも「美味しい」と好評でした。

「もっと自然再生に協力したい」という感想もあり今後は別な試みも検討したいと思えます。

## 実施報告書

日時：平成30年9月22日（土） 8：30～15：30

場所：標茶町茅沼地区

行事名：みんなで調べる復元河川的环境・2018秋（茅沼地区旧川復元現地見学会）

主催者：釧路国際ウェットランドセンター・釧路開発建設部  
釧路湿原自然再生協議会（旧川復元小委員会・再生普及小委員会）

参加者人数：30名

### 取組の概要

自然再生事業を広く一般市民に理解してもらうため、「茅沼地区旧川復元現地見学会」を釧路国際ウェットランドセンターと釧路開発建設部とで共同開催しました。6班に分かれてカヌーとEボートで釧路川の直線河道から復元河道を下り、河岸の植生や河畔の景観、発見した動植物などについて観察・記録しました。旧川復元の切替部で一時停泊し、自然再生事業に関する説明を行いました。また、復元河道の下端部付近で、河岸の砂州に上陸し、州の大きさや土砂構成を調べて、この地点での蛇行復元後の土砂の捕捉状況などを確認しました。下船後、この日の調査や観察の結果を振り返りました。

※Eボートとは、10人乗りの大きなゴム製カヌーで、誰でも(everybody)簡単に(easy)楽しめる(enjoy)水辺の交流ツールです。



### 主催者の感想

釧路国際ウェットランドセンター：初めての共同開催イベントでしたが、無事に実施することができました。今回は初めての参加者も多かったのですが、砂州の計測はリピーターの参加者の主導で行われ、地域住民自身が普及啓発の担い手となっていることが伺えました。カヌーでの調査では、例年とは違うルートを下ったので新たな発見が多くありました。

釧路開発建設部治水課：今年は初めて共同開催となりました。応募が多数で抽選となりましたが、それだけ釧路川に興味を持っていただいている方がいることを実感しました。

アンケートでは、「湿原河川の働きを知ることができ、子供達にも伝えたい」「湿原が生物にとっての財産」など多くのコメントがありました。これからも自然再生に興味を持ってもらえるように、見学会を継続していきたいと考えております。

## 実施報告書

日時：平成30年10月8日（月・祝） 13:00~15:30

場所：釧路湿原自然再生事業地（達古武湖：釧路町）

行事名：カヌーdeヒシ刈り！自然を楽しむin達古武湖

主催者：環境省釧路自然環境事務所

参加者人数：5名

### 取組の概要

当初はカヌーに乗って自然再生事業で行っている「ヒシ刈り」を体験してもらうイベントとして企画していたが、地震の影響で中止となった。代替イベントを実施した10月上旬は、ヒシが枯れている時期であったため、カヌーに乗って自然再生の現場を見学し、達古武湖の自然を体感してもらった。その後、達古武湖の自然再生についてクイズ等を通して学ぶというプログラムのイベントを実施した。



### 主催者の感想

少人数であったため、自然再生の現場の説明がきちんと時間をとれたことにより、参加者の理解度が高まった。また、半日というコンパクトなプログラムでの実行性が確認できた点が良かった。

当初予定のイベントでは計画的にボランティアスタッフの積極的な関与を高める取組を進めていた。次年度以降も新規参加者の開拓、継続的な開催を目指して取組を進めたい。

## 現地見学会実施報告書

日時：平成30年11月29日（木） 8：30～16：00

場所：幌呂地区湿原再生区域・久著呂川光橋（鶴居村）、農業生産法人(株)エフシーエス（標茶町）

行事名：自然再生現地見学会

主催者：釧路湿原自然再生協議会 水循環小委員会（釧路開発建設部治水課）

参加者人数：43名

### 取組の概要

水循環小委員会の委員と多くの住民に水や土砂などの水・物質循環のメカニズムを理解していただくため、「自然再生現地見学会」を開催しました。釧路湿原に流れ込む湧水の見学、久著呂川での流量観測や水質調査を行い、また、地下水や土壌環境に配慮している農業生産法人の施設を見学いたしました。最後の意見交換会では、技術的な質問や見学会の感想など釧路湿原再生に向けて有意義な時間となりました。



久著呂川での水質調査



農業生産法人の施設見学



意見交換会の様子

### 主催者の感想

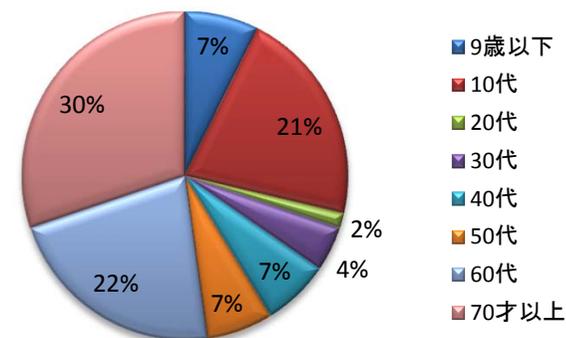
釧路湿原における水・物質循環の課題やそれに対する対策など多くの参加者に知ってもらえたことができたことで、自然再生事業に理解をしていただけたと感じております。昼食は、(株)エフシーエスのご協力により標茶町ブランド牛「星空の黒牛」が入ったお弁当を準備して大好評でした。参加者からは、「今回のような釧路湿原をフィールドワークができる現地見学会がないため今後も是非継続してもらいたい」などご意見をいただき、今後も多くの方々に関心を持てるような現地見学会を企画したいと考えております。



参加者アンケート集計結果

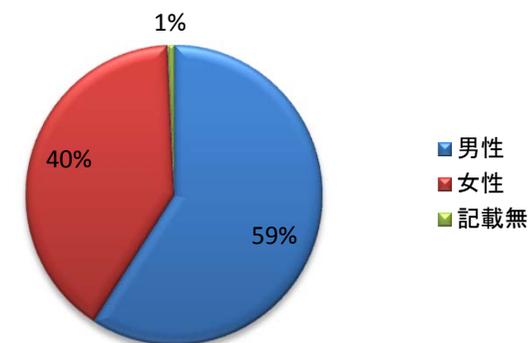
■年齢

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査・夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	水循環 見学会	計
9歳以下	0	0	0	7	0	1	0	0	0	1	1	0	10
10代	0	0	0	5	0	3	0	19	0	1	1	0	29
20代	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
30代	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	1	0	6
40代	0	1	1	0	0	1	1	2	0	3	2	5	9
50代	0	2	0	0	0	0	0	5	0	3	1	2	9
60代	4	5	3	0	1	10	3	1	3	9	3	13	30
70才以上	9	12	1	0	9	7	11	1	4	8	1	18	41
記載無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	40	137



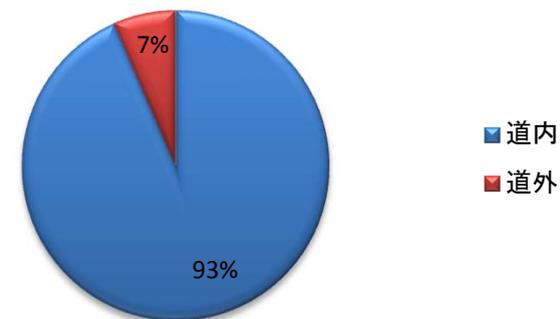
■性別

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査・夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	水循環 見学会	計
男性	7	6	2	9	8	9	10	28	4	10	3	21	81
女性	6	9	4	7	2	14	5	1	3	16	7	16	55
記載無	0	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	40	137



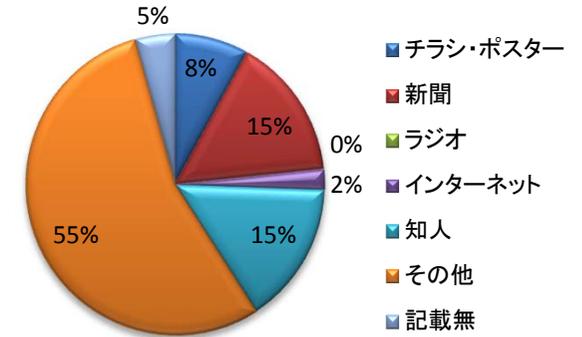
■どこからきたか

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査・夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	水循環 見学会	計
道内	13	22	6	16	10	16	15	30	6	25	10	38	128
道外	0	0	0	0	0	7	0	0	1	1	0	0	9
記載無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	40	137



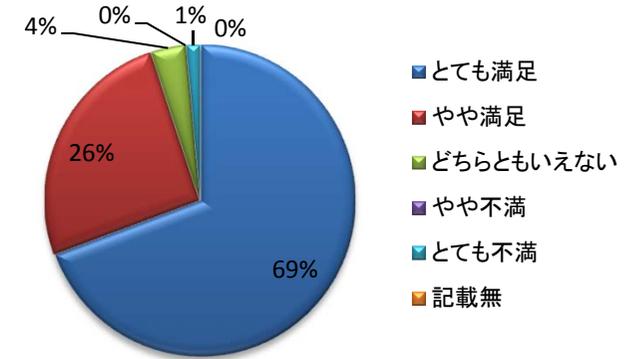
■今日の行事をどのようにして知ったか

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	水循環 見学会	計
チラシ・ポスター	0	0	0	4	0	6	0	0	0	0	1	8	11
新聞	0	1	0	1	0	0	0	0	0	19	1	10	21
ラジオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
インターネット	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	3
知人	0	8	1	5	0	2	0	8	0	1	5	1	21
その他	13	13	5	5	10	13	15	16	7	6	3	18	75
記載無	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	2	6
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	40	137



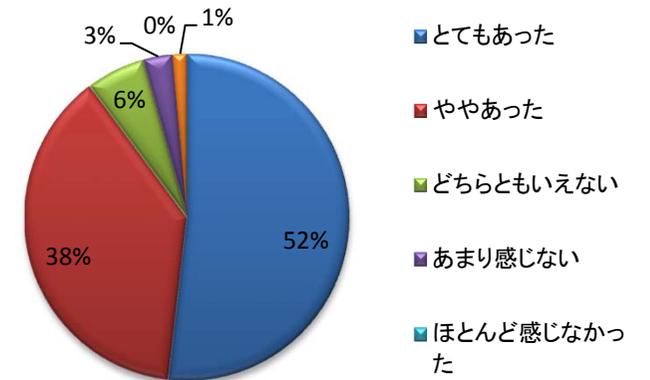
■今日の活動の感想

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	水循環 見学会	計
とても満足	6	19	5	9	7	16	11	14	7	21	10	29	95
やや満足	6	3	1	6	3	6	4	11	0	5	0	9	35
どちらともいえない	1	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0	1	5
やや不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
とても不満	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
記載無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	40	137



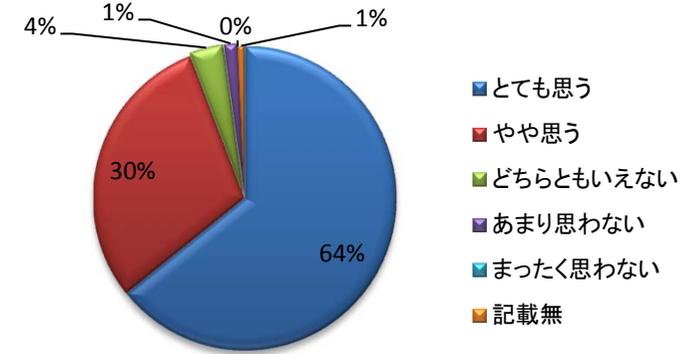
■今日の活動が釧路湿原の自然再生につながったという実感があるか

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	水循環 見学会	計
とてもあった	6	18	4	7	7	11	8	16	4	15	3	21	71
ややあった	6	4	2	5	3	10	5	10	3	9	7	12	52
どちらともいえない	1	0	0	3	0	1	1	3	0	0	0	5	8
あまり感じない	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	4
ほとんど感じなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
記載無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	40	137



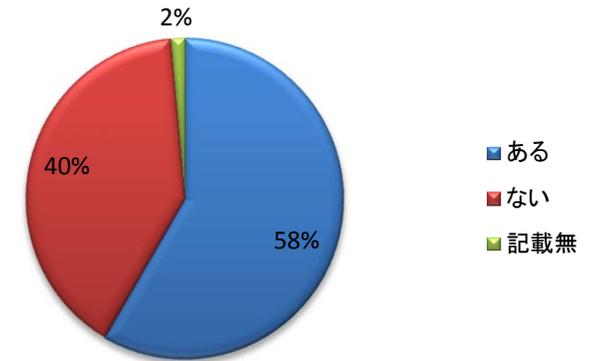
### ■釧路湿原の保全や再生に今後ともかかわっていきたいと思うか

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	水循環 見学会	計
とても思う	8	17	4	8	7	18	11	10	6	20	8	26	88
やや思う	5	5	2	6	3	5	4	15	1	5	2	12	41
どちらともいえない	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	5
あまり思わない	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記載無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	40	137



### ■これまでも釧路湿原の自然再生に関連するイベントに参加したことがあるか

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	水循環 見学会	計
ある	11	11	6	5	8	15	14	14	7	9	8	30	80
ない	1	11	0	10	2	8	0	16	0	17	2	10	55
記載無	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	40	137



### ■今後どのような行事があったら参加したいと思うか

- ・キラコタン岬や宮島岬に入ってみたい
- ・湿原(再生事業)に関わる事なら何でも
- ・ハンノキの皮剥ぎ体験、ボランティア
- ・植樹
- ・外来種防除
- ・ゴミ拾い
- ・ザリガニ釣り
- ・昔の湿原を知っている人の話を聞きたい
- ・カヌーに乗りたい
- ・子供と一緒に参加出来るイベント
- ・湿原の魅力、美しい、楽しいと思われる所のモデルルート(複数)
- ・カヌーを使って湿原の中に入ってみたい
- ・今問題になっている発生源(土砂流出現場等)を見たい
- ・工事現場の見学会、ドローンを飛ばすなど



# WEBサイトによる協議会 からの情報発信について

2018年12月14日(金)

釧路湿原自然再生協議会  
再生普及小委員会事務局

# 第31回再生普及小委員会での主なご意見

## ■ 検討の目的・範囲について

- 全体の設計をどうするのか？誰が使うのか？を明確に。教育・普及がひとつの目的となる。
- 理想ではなく、現実的・具体的な対応を考えるべきでは。
- 災害復旧等危機管理に対応できるデータが要る。
- 多くの人が検索・参照するので影響があり、情報の信頼性が優先。まずはデータセンターの誤りの修正を。
- 若い人が見ないと言うが、WEBサイト運営の目的は何か？
- 誰のために必要なのかを明確に。
- 各事務局の予算をまとめて管理できるのか？
- 個別サイトの情報が多いので、入口機能が重要。
- 市民にわかりやすいものを。そこから専門情報に入れるとよい。
- 協議会ポータルから目的とするサイトに至るのが難しい。
- 情報技術の専門知識のある人を入れて検討しないと失敗する。
- ⇒ 現実には予算の制約があり、当面は現在のサイトを前提に整理する。
- ⇒ 理想の追求はおいておく。
- ⇒ ①各サイトの重複をどう整理するか、②使ってもらうにはどうするか、③誤った情報の修正、の3つは分けて考える必要がある。
- ⇒ メンテナンスの体制をセットで考える必要がある。
- ⇒ ③は可能な限り早く直すという対応になる。

# 第31回再生普及小委員会での主なご意見(つづき)

## ■ SNSの活用について

- 情報の存在が知られていない。若い人はWEBサイトは見ないので、SNSを活用できるとよい。
- Facebookは年齢が高い。Twitterが継続して使われている。
- ⇒ 若い人が見ないならWEB修正の目的を明確にする必要がある。

## ■ 更新体制

- 重要なのはメンテナンス。
- メンテナンスを計画的にできる体制が必要。
- メンテナンスは各管理者の責任で行うべき。
- ⇒ データの修正はルール・仕組みを作ればよい。

## ■ 検討体制

- 検討体制は？
- 機動性のある検討の場が要る。
- ⇒ まず担当者間で検討し、必要に応じて意見を聞きたい。
- ⇒ まずは、各サイトの開設者が予算を踏まえて考える必要がある。

## ■ 今回の検討事項の整理

- 課題毎の対応フローをつくっては？
- イメージが湧かないので構成図がほしい。
- ⇒ 次回までに整理する。

# 今回の検討の目的・前提等の確認

## ■ 目的

- ✓ 「湿原データセンター」の情報更新にあたり、協議会の他のウェブサイトとの役割分担等を整理し、協議会からの情報発信の改善について検討する。(ウェブサイト全体の見直しをするものではない。)

## ■ 前提

- ✓ 協議会ポータル及び各小委員会のウェブサイトについては、運営体制及び予算の制約から当面大きな改廃は行わず、各事務局による現行予算・管理体制での継続を前提とする。(その範囲でできることを考える。)

## ■ 検討体制

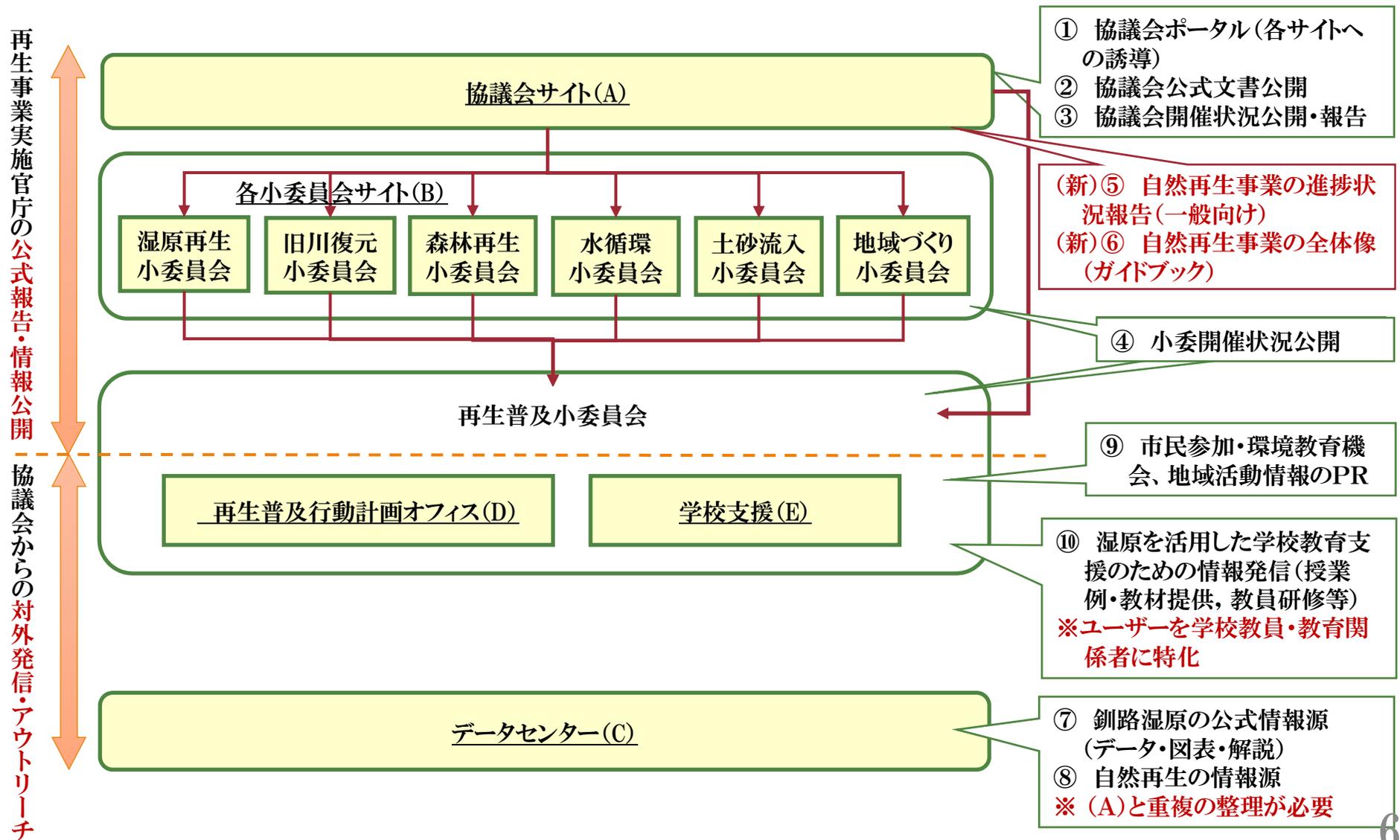
- ✓ ~9月 再生普及小委事務局と各事務局(ウェブサイト管理者)で個別に調整
- ✓ 11月22日(木) 「推進連携チーム」(10~11月頃予定)で方針協議
- ✓ 12月14日(金) 第32回再生普及小委員会で協議
- ✓ 2019年2月26日(火) 第25回自然再生協議会で検討結果を報告

# 課題と対応方針(第32回普及小配布資料を改変)

課題	基本的な考え方	対応案
①情報発信が一元的でなく、情報が重複・分散している	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 複数の官庁が分担して事業を実施している以上、<u>一元運用は現実的ではない</u>。</li> <li>✓ 運用負担面からも、<u>役割分担の整理</u>は必要。</li> </ul>	<p>→ p6-7のように整理</p>
②会議資料以外はデータの更新が行われにくい	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 更新を要する情報については、<u>継続的かつ合理的な更新体制</u>を構築する必要がある。</li> <li>✓ 各小委サイトは、小委に関する情報公開を中心とする</li> </ul>	<p>→ p8のように考え方(原則)を整理</p>
③自然再生の現状等を市民目線でわかりやすく伝えるべき	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 協議会にとって、自然再生の必要性(根拠)、進捗状況、展望等を<u>わかりやすく発信</u>することの優先度は高い。</li> <li>✓ <u>各小委員会別に年度毎の進捗状況の簡略な報告と次年度以降の展望</u>等がいずれかのサイトにあるとよい。</li> </ul>	<p>→ 各小委ごとに毎年度の進捗状況をPDFで作成し、<u>協議会サイト</u>で公開(p7-8参照)</p>
④データセンターのユーザーが不明確	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <u>釧路湿原や自然再生事業に関心を持った人に、正確な情報を提供し、現在の動きを伝える</u>ことを目的とする。</li> <li>✓ <u>学校向け・一般市民向け</u>の情報発信への期待があるが、年齢期別サイトは現実的ではなく、学校のニーズ・条件に応じた発信は学校支援WGで専門的に担っているため、ここでは指導者としての<u>教員の利用に応える「質」</u>をめざすこととする。</li> <li>✓ <u>協議会構成員・関係者のニーズ</u>は最低限満たす必要がある。</li> </ul>	<p>→ 今後のデータセンターの更新作業に反映</p>
⑤データセンターと他の情報源との機能分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <u>論文</u>など、既存情報源がカバーする情報は<u>扱う必要がない</u>。</li> <li>✓ <u>湿原に関する公的なデータ・情報</u>は、ここが発信源となる。</li> </ul>	
⑥データへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <u>主な図表やデータのダウンロード</u>を可能にする。</li> </ul>	

# 各サイトの基本的な役割(案)

- ✓ この構造がわかるナビゲーションをA～Eの各サイトのトップページにおき、利用者の情報アクセスをサポートする。
- ✓ データセンターは更新負担を考慮して静的・固定的情報の収蔵庫とする。(→p8)



# WEBサイト間の機能分担の整理(案)

- ✓ ⑤⑥については、小委報告同様に官公庁の情報公開の一環として位置づける。
- ✓ 再生普及行動計画オフィスサイト(下記D)の掲載情報(重複事項)の整理が必要。(別紙参照)

<凡例> ● : ページ作成・更新・管理 → : 該当サイトへのリンク	A 協議会 サイト	B 各小委 サイト	C データ センター	D 再生普及 行動計画	E 学校支援
基本的な役割 ウェブサイトの機能	協議会全 体の情報 公開	実施計画 ごとの情 報公開・ 発信	釧路湿原 と自然再 生のデー タバンク	市民参加 環境教育 機会の周 知	学校での 湿原学習 支援
① 協議会ポータル(各サイトへの誘導)	●				
② 公式文書公開(設置要綱・全体構想・実施計画等)	●	←	←	←	←
③ 協議会開催状況公開・報告(資料・議事要旨)	●				
④ 小委開催状況公開・報告(資料・議事要旨) (自然再生事業の進捗状況の詳細発信)	→	●	←	←	←
⑤ 自然再生事業の進捗状況報告(一般向け)	●	←	←	←	←
⑥ 自然再生事業の全体像(ガイドブックPDF)	●	←	←	←	←
⑦ 釧路湿原の情報源(自然・社会データ・図表、解説)	→	→	●	←	←
⑧ 自然再生の情報源(背景、制度、基本的な考え方)	②で代替?		← ???		
⑨ 市民参加・環境教育機会、地域活動情報の発信	→	→	→	●	←
⑩ 湿原を活用した学校教育支援のための情報発信	→	→	→	→	●

# 各サイトの更新体制(案)

	設置者	更新ルール
各サイト共通事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 会議や行事の開催案内、各種募集等は、広報開始後速やかに(1ヶ月前?)掲載するとともに、<u>再生普及行動計画オフィスに連絡</u>する。(→オフィスから隔週メールニュースで発信)</li> <li>✓ <u>会議の配付資料は1週間以内、議事要旨は</u>(発言者確認のうえ)<u>1ヶ月以内に各サイトに掲載</u>する。</li> </ul>
A 協議会サイト	国交省	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 協議会公式文書(要綱・規則、構成員、全体構想、実施計画等)の改廃の都度更新。</li> </ul>
B 各小委サイト	各事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 実施計画毎に、<u>毎年度の到達点</u>(目標に対する進捗状況)及び<u>次年度の見通し</u>(事業計画案に相当するもの)、<u>その他成果・課題・特記事項等をA4版1ページ程度のPDF(フォームは統一)にわかりやすくまとめ、図表・写真とともに協議会サイトで公開</u>する。(p6⑤に相当)</li> </ul>
C データセンター	環境省	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <u>新規項目・ページ</u>の提案は<u>窓口を決めて随時受け付け</u>、情報を整理のうえ<u>協議会内に情報照会し、毎年度のメンテナンス作業の範囲内で更新</u>する。</li> <li>✓ 数値データや図表等を含め<u>経時変化する掲載情報は、更新予定・頻度をリスト化し、毎年度当初に前年度末時点の最新情報に差し替える</u>。(毎年度前半の<u>推進連携チーム会合</u>で設置者から各事務局にリストを示し、<u>差し替え情報の提供を依頼</u>する。)</li> <li>✓ 情報の<u>誤りや不備の指摘</u>を受けた場合には<u>速やかに対応のうえ指摘者に連絡</u>する。</li> </ul>
<p>更新を、①図表や情報の年次更新、②誤情報の修正・追記、③新たな情報掲載ニーズへの対応に絞る。</p>		
D 再生普及行動計画オフィス	環境省	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <u>活動情報、市民参加・環境教育機会</u>については、<u>情報入手し次第掲載</u>するとともに、<u>メールニュース(隔週)</u>で発信する。<u>パンフレット等PRツール</u>等も更新次第掲載する。</li> <li>✓ 本サイトでは、「活動」や「機会」等の<u>市民向け動的情報</u>の発信を<u>主眼</u>とし、<u>自然再生事業の情報や各種解説(静的情報)</u>は各サイト+データセンターへの<u>リンク</u>を基本とし、軽量化していく。</li> </ul>
E 学校支援	環境省	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ワーキンググループによる事業の進行管理に応じて随時情報を更新する。</li> </ul>

# 各小委サイトの構成の統一について

- ✓ 小委サイトは、各実施官庁の公式サイトの内容として設置運営されているため、協議会としての一体感に欠ける。
- ✓ 各サイトの構造が異なるため、統一は困難だが、見出しタイトルや掲載順等を概ね以下のように統一する。

## 再生普及小委員会

…小委員会の説明

釧路湿原の自然再生について、流域内外のたくさんの人々に伝え、環境教育と市民参加を進めていくために、他の6つの小委員会と連携して活動します。釧路湿原の応援団「ワンダグリダ・プロジェクト」を運営しています。

p6の模式図(協議会・各小委の構成がわかる図)

## お知らせ

…会議・行事開催案内、新着情報等

## 第3期再生普及行動計画

…実施計画へのリンクを掲載

## 再生普及事業の実施状況

…各実施計画ごとの進捗状況サイトにリンク

## 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

…WGが設置されている場合には当該サイトにリンク

流域の学校教員・教育行政・専門家とともに、学校教育での湿原の活用に向けて、モデル授業の企画・実施、校外学習受け入れ、教員研修講座、各種教材作成・提供等を行っています。

## 案1

…新しい順に一覧形式でリストを記載し、階層は設けずに全てPDF掲載。

## 会議開催状況

第31回	2018年 6月21日(木)	<a href="#">ニュースレター No.31 PDF 3,450MB</a>	<a href="#">議事次第・名簿</a>	<a href="#">配付資料</a>	<a href="#">議事要旨</a>
第30回	2017年12月15日(金)	<a href="#">ニュースレター No.30 PDF 4,120MB</a>	<a href="#">議事次第・名簿</a>	<a href="#">配付資料</a>	<a href="#">議事要旨</a>
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

## 案2

…現在の国交省方式(最新の会議の情報を表示し、過去の会議は1階層下で案1のように一覧表示する。

## 案3

…階層構造は統一せず、各事項の見出しの用語のみ統一する。

# <小委サレ例： A-4-3> 国土交通省北海道開発局釧路開発建設部

第21回（平成30年2月14日）



## 開催概要

「第21回旧川復元小委員会」が平成30年2月14日(水曜日)に、釧路地方合同庁舎5階共用第1会議室で開催されました。  
小委員会には12名（個人6名、5団体5名、関係行政機関2機関2名）が出席しました。一般の方々も傍聴されました。  
会議の冒頭、第20回旧川復元小委員会で作された発言概要と今後の対応方針について、事務局から説明がありました。  
その後、神田委員長の進行のもと、「平成29年度茅沼地区モニタリング調査結果」、「茅沼地区旧川復元事業の評価」等について、事務局からの説明とそれぞれに対する意見交換が行われました。

## 議事要旨

 [この議事要旨のPDF \(PDF:165KB\)](#)

## 資料

-  [【資料1】 第21回旧川復元小委員会\\_表紙、議事次第、名簿等 \(PDF:230KB\)](#)
-  [【資料4】 第21回旧川復元小委員会資料 \(PDF:9.75MB\)](#)

## ニュースレター

 [ニュースレターNo.21 \(PDF:8.25MB\)](#)

## その他の開催状況

[その他の開催状況](#)

## 旧川復元小委員会 開催状況一覧

ページ内目次

[▼ 開催状況一覧](#)

## 開催状況一覧

- [▶ 第1回](#)
- [▶ 第2回](#)
- [▶ 第3回](#)
- [▶ 第4回](#)
- [▶ 第5回](#)
- [▶ 第6回](#)
- [▶ 第7回](#)
- [▶ 第8回](#)
- [▶ 第9回](#)
- [▶ 第10回](#)
- [▶ 第11回](#)
- [▶ 第12回](#)
- [▶ 第13回](#)
- [▶ 第14回](#)
- [▶ 第15回](#)
- [▶ 第16回](#)
- [▶ 第17回](#)
- [▶ 第18回](#)
- [▶ 第19回](#)
- [▶ 第20回](#)
- [▶ 第21回](#)

# <小委サレ例：B-4, B-9> 北海道釧路総合振興局・釧路建設管理部

北海道 釧路総合振興局

個人情報等を入力するページは暗号化通信 (SSL) により、保護しています。

ホームページの使い方 サイトマップ 文字を大きくするには

サイト内検索: Google カスタム検索 検索

ホーム 観光 暮らし・医療・福祉 環境・まちづくり 教育・文化 産業・経済 行政・政策・税

ホーム > 建設管理部 > 釧路建設管理部 > 釧路湿原自然再生協議会(土砂流入小委員会)

音声で読み上げる

ツイート G+

最終更新日: 2018年7月30日 (月)

## 釧路湿原自然再生協議会(土砂流入小委員会)

### 開催記録

#### 第1回(H16.2.19)

[○第1回NL](#) [○第1回議事要旨](#)

#### 第2回(H16.6.29)

[○第2回NL](#) [○第2回議事要旨](#)

#### 第3回(H16.10.21)

[○第3回NL1](#) [○第3回NL2](#) [○第3回議事要旨](#)

§ § §

#### 第21回(H29.2.1)

[○第21回議事要旨](#) [○第21回NL](#) [○第21回委員会資料01](#) [○第21回委員会資料02](#)

[○第21回委員会資料03](#) [○第21回委員会資料04](#) [○第21回委員会資料05](#)

[○第21回委員会資料06](#)

#### 第22回(H29.11.22)

[○第22回議事要旨](#) [○第22回NL](#)

いいね! 0 ツイート G+

お問合せページ等、個人情報を入力するページは暗号化通信 (SSL) により、保護しています。

お問合せ | 庁舎のご案内 | サイトの方針 | リンクについて | 個人情報の取扱いについて | 著作権について

北海道 釧路総合振興局  
〒085-8588 北海道釧路市浦見2丁目2番54号 [【電話番号一覧】](#)

一般的な業務時間 8時45分～17時30分 (土日祝日および12月29日～1月3日はお休み)

(c)2018 HOKKAIDO GOVERNMENT KUSHIRO GENERAL SUBPREFECTURAL BUREAU ALL RIGHTS RESERVED.

北海道 釧路総合振興局

個人情報等を入力するページは暗号化通信 (SSL) により、保護しています。

ホームページの使い方 サイトマップ 文字を大きくするには

サイト内検索: Google カスタム検索 検索

ホーム 観光 暮らし・医療・福祉 環境・まちづくり 教育・文化 産業・経済 行政・政策・税

ホーム > 産業振興部 > 商工労働観光課 > 釧路湿原自然再生協議会 地域づくり小委員会(開催記録)

釧路の分類: 観光 > 釧路の観光

音声で読み上げる

いいね! 0 ツイート G+

最終更新日: 2018年4月03日 (火)

(釧路湿原自然再生協議会 地域づくり小委員会 開催記録のページ)

§ § §

### 釧路湿原自然再生協議会 地域づくり小委員会開催記録

#### 第1回地域づくり小委員会(平成28年1月27日)

[>>第1回委員会](#) [>>委員会資料1](#) [>>委員会資料2](#) [>>委員会資料3](#)  
[>>委員会資料4](#) [>>委員会資料5](#) [>>第1回議事要旨](#) [>>第1回ニュースレター](#)

#### 第2回地域づくり小委員会(平成28年9月28日)

[>>第2回委員会](#) [>>委員会資料1](#) [>>委員会資料2](#) [>>委員会資料3](#)  
[>>委員会資料4](#) [>>第2回議事要旨](#) [>>第2回ニュースレター](#)

#### 第3回地域づくり小委員会(平成29年2月14日)

[>>第3回委員会](#) [>>委員会資料](#) [>>第3回議事要旨](#) [>>第3回ニュースレター](#)

#### 第4回地域づくり小委員会(平成30年2月13日)

[>>第4回委員会](#) [>>委員会資料1](#) [>>委員会資料2](#) [>>委員会資料3](#)  
[>>第4回議事要旨](#) [>>第4回ニュースレター](#)

[-TOPページへ戻る-](#)

本ページに関するお問い合わせは...  
北海道釧路総合振興局産業振興部商工労働観光課観光振興係  
TEL:0154-43-9184(☎) FAX:0154-41-0967

いいね! 0 ツイート G+

お問合せページ等、個人情報を入力するページは暗号化通信 (SSL) により、保護しています。

お問合せ | 庁舎のご案内 | サイトの方針 | リンクについて | 個人情報の取扱いについて | 著作権について

北海道 釧路総合振興局  
〒085-8588 北海道釧路市浦見2丁目2番54号 [【電話番号一覧】](#)

一般的な業務時間 8時45分～17時30分 (土日祝日および12月29日～1月3日はお休み)

(c)2018 HOKKAIDO GOVERNMENT KUSHIRO GENERAL SUBPREFECTURAL BUREAU ALL RIGHTS RESERVED.

# ＜小委サレ例：B-5＞ 林野庁北海道森林管理局

北海道森林管理局

文字サイズ

標準

大きく

キーワードから探す

Google カスタム検索

検索

森林管理局へようこそ

報道・広報

森林管理局の仕事

公売・入札情報等

リンク集

ホーム > 森林管理局の案内 > 森林管理局の概要 > 管内各センターのご紹介 > 釧路湿原森林ふれあい推進センター > 業務内容 > 釧路湿原自然再生協議会森林再生小委員会

## 釧路湿原自然再生協議会森林再生小委員会

### 釧路湿原自然再生協議会

近年、釧路湿原は湿原本来の変化に比べて、急激な質的・量的な変化が見られます。

質的变化は湿原の乾燥化にともなうハンノキ林の増加であり、量的変化は経済活動の拡大による湿原面積の減少です。

このような中で、平成15年1月に「自然再生推進法」が施行され、これに基づき同年11月に「釧路湿原自然再生協議会」（以下、「協議会」という。）が設立されました。

この協議会は、地域住民、市民団体（NPO、NGO）、様々な分野の専門家、国、道、市町村等の多様な主体で構成されており、流域住民の理解と合意形成により、地域が中心となり、釧路湿原の自然再生の取組みを進めています。

協議会では、釧路湿原における自然再生の方向性を示した「釧路湿原自然再生全体構想」を作成し、これに基づいて湿原を保全するための様々な「実施計画」が作成され、自然再生の取組みが行われています。

### 森林再生小委員会

協議会には、7つの小委員会（湿原再生、旧川復元、森林再生、水循環、土砂流入、再生普及、地域づくり）が設置されており、このうち「森林再生小委員会」では、森林の再生（野生動物の生息環境修復を含む）に関する実施計画とその実施状況、モニタリング結果等を検討しています。

### 会議の概要

これまでの会議の資料や概要等は、次のとおりです。

会議名	開催日	ニュースレター
第17回森林再生小委員会	平成29年10月19日	no17(PDF:1,588KB) 
第16回森林再生小委員会	平成28年10月13日	no16(PDF:2,015KB) 
第15回森林再生小委員会	平成27年11月20日	no15(PDF:2,693KB) 

第5回森林再生小委員会	平成17年11月8日	no5(PDF:2,331KB) 
第4回森林再生小委員会	平成17年7月7日	no4(PDF:4,860KB) 
第3回森林再生小委員会	平成17年3月8日	no3(PDF:4,159KB) 
第2回森林再生小委員会	平成16年6月15日	no2(PDF:4,270KB) 
第1回森林再生小委員会	平成16年2月17日	no1(PDF:4,571KB) 

### 関連リンク

[釧路湿原自然再生協議会](#)

湿原再生小委員会・旧川復元小委員会・水循環小委員会

# ＜小委サレ例：D-3-2＞ 再生普及行動計画オフィス

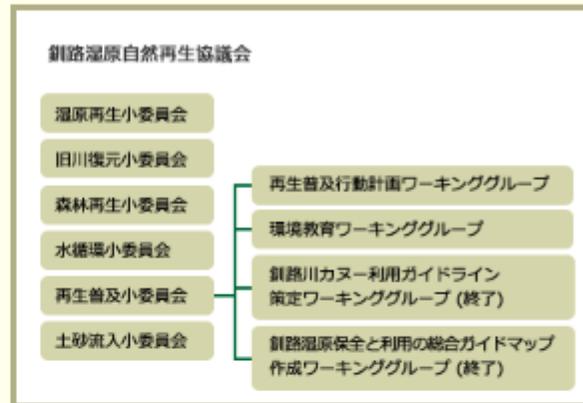
## 再生普及小委員会の活動

Home > 釧路湿原の保全・再生に参加するには > 再生普及小委員会の活動

釧路湿原自然再生協議会には、6つの小委員会(右図)があります。「再生普及小委員会」は、自然再生の各実施計画を専門的に取り扱う5つの小委員会とは別に、自然再生事業全体をとおして市民参加や環境教育を進めて行く取組の立案や推進方策を協議する場として設置されています。

協議会構成員のうち希望者が参加し、事務局は環境省釧路自然環境事務所が務めています。現在、年2～3回程度、釧路市内において公開で開催されており、開催予定等は、本サイト等でもご案内いたします。

協議会構成図



### 再生普及小委員会の現在の構成員 PDF

### 再生普及小委員会議事資料・議事要旨一覧

- 第1回 [議事資料①](#) PDF [議事要旨②](#) PDF [議事要旨](#) PDF
- 第1回 [議事資料③](#) PDF [議事資料④](#) PDF [議事資料⑤](#) PDF
- 第2回 [議事資料①](#) PDF [議事資料②](#) PDF [議事要旨](#) PDF
- 第3回 [議事資料](#) PDF [議事要旨](#) PDF
- 第4回 [議事資料](#) PDF [議事要旨](#) PDF
- 第5回 [議事資料](#) PDF [議事要旨](#) PDF

- 第24回 [議事資料](#) PDF [議事要旨](#) PDF
- 第25回 [議事資料](#) PDF [議事要旨](#) PDF
- 第26回 [議事資料](#) PDF [議事要旨](#) PDF
- 第27回 [議事資料](#) PDF [議事要旨](#)
- 第28回 [議事資料](#) PDF [議事要旨](#)
- 第29回 [議事資料①](#) PDF [議事資料②](#) PDF [議事資料③](#) PDF [議事資料④](#) PDF [議事要旨](#)
- 第30回 [議事資料](#) [議事要旨](#)

### 再生普及小委員会ニュースレター

- [Vol.1](#) PDF
- [Vol.2](#) PDF
- [Vol.3](#) PDF
- [Vol.4](#) PDF
- [Vol.5](#) PDF
- [Vol.6](#) PDF
- [Vol.7](#) PDF
- [Vol.8](#) PDF
- [Vol.9](#) PDF
- [Vol.10](#) PDF
- [Vol.11](#) PDF
- [Vol.12](#) PDF
- [Vol.13](#) PDF
- [Vol.14](#) PDF
- [Vol.15](#) PDF

}}}

# 自然再生事業の進捗状況報告(一般向け)記載事項(案)

- ✓ 「釧路湿原自然再生ガイドブック」(2017年12月)のp8～19を各実施計画毎の記載のベースとする。(視察対応や現地見学会等でそのまま配布できるとよい。)
- ✓ 「どこで」「何のために」「何を」やっけて、「どこまでできているのか」、「何がわかったのか」を地図、写真、図表等を用いて極力わかりやすく記述する。特に、事業実施前・後の変化を具体的に記述する。
- ✓ 学習計画を立てるために調べている小中学校の教員が理解できるレベルの用語使用・記述を意識する。

記載事項	考え方
目的	施策毎の目的をわかりやすく記載する
事業内容	実施する事業を地名等を含めて具体的に列挙する
期待する効果	図表等を用いて具体的にイメージできるよう説明する
これまでの進捗状況、成果・課題	実績や調査結果を具体的な数値、図表、地図、写真等を用いて平易に解説する
2018年度の実施状況と成果・課題	
今後の展望	予算や意思決定を経た確定事項の公開のみではあまり欠けないので、その時点での方針・方向性として書けるレベルでできるだけ具体的に書く。

<別紙> 現行WEBサイトのコンテンツ一覧

資料2-2

[赤字:要対応、紫字:更改時対応]

A 協議会ポータル 国土交通省北海道開発局釧路開発建設部		
A-1	新着情報	
A-2	更新情報	※各小委の開催情報をリンクにより掲載
A-3	協議会について	
A-3-1	設立趣旨	
A-3-2	設置要綱・運営規則等	
A-3-3	設立までの経緯	「これまでの経緯」への変更が妥当か?
A-3-4	構成員名簿	
A-3-5	釧路湿原の現状と課題	A-3-3に併合?
A-3-6	釧路湿原の河川環境保全に関する提言	A-3-3に併合?
A-4	開催概要	
A-4-1	協議会	
A-4-1-1	(直近の小委の)開催概要	
A-4-1-2	議事要旨	
A-4-1-3	配付資料	
A-4-1-4	ニュースレター	
A-4-2	湿原再生小委	
A-4-2-1	(直近の小委の)開催概要	
A-4-2-2	議事要旨	
A-4-2-3	配付資料	
A-4-2-4	ニュースレター	
A-4-3	旧川復元小委	
A-4-3-1	(直近の小委の)開催概要	
A-4-3-2	議事要旨	
A-4-3-3	配付資料	
A-4-3-4	ニュースレター	
A-4-4	土砂流入小委 (→B-4)	
A-4-5	森林再生小委 (→B-5)	
A-4-6	水循環小委	
A-4-6-1	(直近の小委の)開催概要	
A-4-6-2	議事要旨	
A-4-6-3	配付資料	
A-4-6-4	ニュースレター	
A-4-7	再生普及小委 (→D)	
A-4-8	行動計画WG (→D-3-3)	※終了につき、見出し不要
A-4-9	地域づくり小委 (→B-9)	
A-4-10	自然再生シンポジウム	A-3-3に併合?
A-4-11	学校支援WG	※要見出し・リンク新設
A-5	協議会策定資料	※パンフ要掲載
A-5-1	全体構想	
A-5-2	再生普及行動計画	
A-5-3	カーヌーガイドライン	
A-5-4	釧路湿原自然再生ニュース	掲載場所を検討
A-6	実施計画	PDFリンクの目次の方がいいのでは?
A-6-1	スマオロ	PDF直リンクの方がいいのでは?
A-6-2	茅沼	PDF直リンクの方がいいのでは?
A-6-3	土砂流入	PDF直リンクの方がいいのでは?
A-6-4	幌呂	PDF直リンクの方がいいのでは?
A-6-5	達古武	PDF直リンクの方がいいのでは?
A-6-6	達古武湖	PDF直リンクの方がいいのでは?
A-6-7	雷別 (→サイト紹介ページ)	
A-7	関連機関(リンク集)	
A-8	サイトマップ	
B-4 土砂流入小委 (北海道釧路総合振興局釧路建設管理部)		
全回の議事要旨+ニュースレター+配付資料		
B-5 森林再生小委 (林野庁北海道森林管理局)		
全回の議事要旨+ニュースレター+配付資料   NLリンクがサイト内で重複		
B-9 地域づくり小委 (北海道釧路総合振興局商工労働観光課)		
全回の議事要旨+ニュースレター+配付資料		
D みんなで進める釧路湿原の自然再生 (環境省釧路自然環境事務所)		
D-1	釧路湿原の基礎知識と訪問ガイド	基本的に各サイトへのリンクで構成する
D-1-1	釧路湿原の基礎知識 (→データセンター)	
D-1-2	釧路湿原国立公園 (→環境省+NP連絡協議会)	
D-1-3	釧路湿原地域の観光 (→各観光協会)	道振興局or観光連盟サイトにリンク?
D-2	自然再生を進める仕組みと具体的な計画	基本的に各サイトへのリンクで構成する
D-2-1	再生を進める仕組み (→A-1+解説)	
D-2-2	自然再生の全体像 (→A5-1)	※協議会サイトにパンフ掲載し、要リンク
D-2-3	自然再生の特徴 (→A5-1抜粋)	
D-2-4	具体的な計画 (→A6各計画)	
D-3	釧路湿原の保全・再生に参加するには	
D-3-1	普及行動計画 (解説+計画PDF)	※現行計画表紙写真掲載(容量制限超過?)
D-3-2	普及小委の活動(全回の議事要旨+資料+行動計画WGの活動(全回の議事要旨+資料))	A-4.Bと横並び(役所の情報公開)で位置づけ
D-3-3	市民参加のワンダグリンダプロジェクト	
D-4-1	取組み一覧(直近年度)	改修時にD-4-5と統合
D-4-2	参加者募集中(チラシPDF)	
D-4-3	参加者向け特典	
D-4-4	メールニュース案内	トップページにあるので削除可
D-4-5	過去のワンダグリンダプロジェクト(PDFリスト)	D-4-1に統合
D-5	釧路湿原と学校での環境教育	
D-5-1	実践事例 (→E-6)	
D-5-2	教員研修講座 (→E-2)	
D-5-3	湿原学習をお手伝いします	
D-6	湿原のワズユースに向けて	
D-6-1	鶴居ガイドマップ	※改訂版案内(要入手)+鶴居協リンク
D-6-2	釧路川カーヌー利用ガイドライン (→A-5-3)	
D-6-3	保全と利用総合ガイドマップ(旧マップ)	削除可?(在庫等不明)
D-7	地域で取り組む自然再生	FBやブログ化しないと情報更新困難
D-7-1	標茶高校	
D-7-2	標茶西地区農地・水保全隊	
D-7-3	鶴居村森林組合	
D-8	オフィス業務のご案内	
D-8-1	パネル貸出	パネルを作成のうえ更新する必要あり
D-8-2	航空写真貸出	貸出事態の継続可否を要検討
D-8-3	講演・出前授業・講師派遣	
D-8-4	オフィスボランティアの募集	非現実的?(マネジメント困難)
D-9	釧路湿原自然再生協議会	
D-10	自然再生ブログ	要廃止(機能したためがない)
D-11	自然再生実施計画概要資料	各小委毎の年次報告サイトに切り替え
D-12	環境教育WG	バナー(名称)修正

E きづく わかる まもる 釧路湿原 (環境省釧路自然環境事務所)		
E-1	釧路湿原を題材とした学習資料	
E-1-1	フィールド情報マップ	
E-1-2	学習資料の活用例	
E-1-3	釧路湿原の生きもの写真資料館	
E-1-4	釧路湿原の生きものの食物連鎖	
E-1-5	大地のつくりと変化(モデル授業)	
E-2	教員研修講座(過去の実施内容公開)	
E-3	協力団体・受入機関の情報	
E-4	受け入れ施設の情報	
E-5	小中高校における実践事例	
E-6	資料DL(2007調査報告、環境教育ガイドブック)	
E-7	学校支援WG(開催実績、資料、議事要旨)	
E-8	WGの取組み(事業実績報告)	
E-9	環境教育WG(開催実績、資料、議事要旨)	

C 釧路湿原自然再生プロジェクト湿原データセンター ※現在公開版 (環境省釧路自然環境事務所)		
C-1	湿原を知る	
C-1-1	湿原の基礎	?
C-1-1-1	釧路湿原の形成	?
C-1-1-2	湿原とは、湿原の種類	?
C-1-1-3	湿原のでき方	?
C-1-1-4	湿原の広さ	?
C-1-1-5	湿原を見る	?
C-1-2	自然環境	?
C-1-2-1	ある湧水地点の様子	?
C-1-2-2	ハンノキ林の拡大	?
C-1-2-3	栄養塩とはなんだろう?	?
C-1-2-4	釧路湿原情報地図	?
C-1-2-5	釧路湿原流域の地勢	?
C-1-2-6	釧路地方の気象条件	?
C-1-2-7	釧路地方の霧発生時の仕組み	?
C-1-2-8	湿原とその周辺域の水利用	?
C-1-2-9	湿原と植生概要	?
C-1-2-10	湿原に生息する植物:ハンノキ	?
C-1-2-11	湿原に生息する動物:タンチョウ	?
C-1-2-12	湿原に生息する動物概要	?
C-1-2-13	湿原の水環境	?
C-1-2-14	湿原域の形状と周囲の地形(流域図)	?
C-1-2-15	植生群落源	?
C-1-2-16	有機汚染量を示す指標	?
C-1-2-17	湧水地:釧路湿原を涵養する水源	?
C-1-2-18	様々な湿原の植物	?
C-1-2-19	冷涼な夏に守られてきた湿原	?
C-1-3	湿原と人	?
C-1-3-1	[湿原と産業 観光] 湿原が観光地として注目される	?
C-1-3-2	[湿原と産業 漁業] 釧路地方は北洋漁業の一大基地	?
C-1-3-3	[湿原と産業 工業] 鉱工業は豊富な資源と結びつき発展した	?
C-1-3-4	[湿原と産業 農業] 湿原域の農業	?
C-1-3-5	[湿原と産業 農業] 大規模化しつづけてきた農業	?
C-1-3-6	[湿原と産業 農業] 酪農による環境負荷の増加	?
C-1-3-7	[湿原と産業 林業] 木材生産重視の林業から森を活かす林業へ	?
C-1-3-8	[湿原と産業]	?
C-1-3-9	エコツアー・環境教育	?
C-1-3-10	規制区域:湿原環境保全に関連する法的な地域指定	?
C-1-3-11	規制区域2:湿原環境保全に関連する法的な地域指定	?
C-1-3-12	細岡展望台から見る湿原と夕日	?
C-1-3-13	資源としての湿原	?
C-1-3-14	湿原の周囲環境	?
C-1-3-15	湿原の周辺市町村	?
C-1-3-16	湿原面積の減少	?
C-1-3-17	湿原面積の減少2	?
C-1-3-18	地域住民へのアンケート(湿原に関する意向調査)	?
C-1-3-19	鳥獣保護区:湿原環境保全に関連する法的な地域指定	?
C-1-3-20	展望台から「感じる」釧路湿原	?
C-1-3-21	都市計画:土地利用に関連する法的な地域指定	?
C-1-3-22	土地利用の変化1976年~1997年	?
C-1-3-23	土地利用の変化(農地面積)	?
C-1-3-24	農業地域:土地利用に関連する法的な地域指定	?
C-1-3-25	変化してきた湿原への接し方	?
C-2	自然再生を知る	現時点ではコーナーごと不要ではないか?
C-2-1	自然再生事業について	
C-2-1-1	我が国の自然再生	?
C-2-1-2	再生事業とは	?
C-2-1-3	世界の自然再生	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-1-4	世界の自然再生[アメリカ]	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-1-5	世界の自然再生[イタリア]	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-1-6	世界の自然再生[オーストラリア]	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-1-7	世界の自然再生[デンマーク]	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-1-8	世界の自然再生[ドイツ 1]	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-1-9	世界の自然再生[ドイツ 2]	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-2	自然再生釧路方式	A-4.A-6へのリンクでよい
C-2-2-1	パイロット事業地 広里地域	A-4.A-6へのリンクでよい
C-2-2-2	パイロット事業地 広里地域 事業内容	A-4.A-6へのリンクでよい
C-2-2-3	パイロット事業地 達古武地域 事業内容	A-4.A-6へのリンクでよい
C-2-2-4	パイロット事業地 塘路・茅沼地域 事業内容	A-4.A-6へのリンクでよい
C-2-2-5	再生の目標	A-5へのリンクでよい
C-2-2-6	再生事業の考え方	A-5へのリンクでよい
C-2-2-7	再生事業の全体像	A-5へのリンクでよい
C-2-2-8	再生事業の範囲とパイロット事業地	A-5へのリンクでよい
C-2-2-9	自然再生釧路方式	A-5へのリンクでよい
C-2-2-10	自然再生事業の長期目標	A-5へのリンクでよい
C-3	全体構想を知る	A-5へのリンクでよい
C-4	3Dコンテンツ	?
C-5	データ検索	?
C-6	資料室	?
C-7	GISコンテンツ	?
C-8	ENGLISH	?
C-9	リンク	?
C-10	ダウンロードサービス	?



## 「釧路湿原自然再生パネル」・「釧路湿原自然再生ガイドブック」英語版の作成について

### 目的

釧路湿原自然再生協議会では、設立当初から多くの人々の理解や参加を広げていくことを重視し、自然再生を地域・市民の理解、支持、協力のもとに進めていくため情報発信に努めている。

この一環で釧路湿原自然再生事業パネルを作成したものの、活動内容の変化やさらなる情報発信を目的に、当該パネルの更新を行うものとする。

また、平成 29 年度に「湿原とともに暮らす未来の子どもたちのために 釧路湿原自然再生事業ガイドブック」を作成した。釧路湿原の自然再生事業については、外国からの視察等も多く訪れる先進的な自然再生事業地であることから、当該ガイドブックを英訳化し、より多様な方への情報発信に努める。

### 内容

#### ○釧路湿原自然再生パネル

- ・釧路湿原自然再生事業のパネルについて、更新を予定
- ・情報のベースとしては釧路湿原自然再生ガイドブックを活用し、より分かりやすい内容を目指す

#### ○釧路湿原自然再生ガイドブック

- ・釧路湿原自然再生事業ガイドブックの英訳化

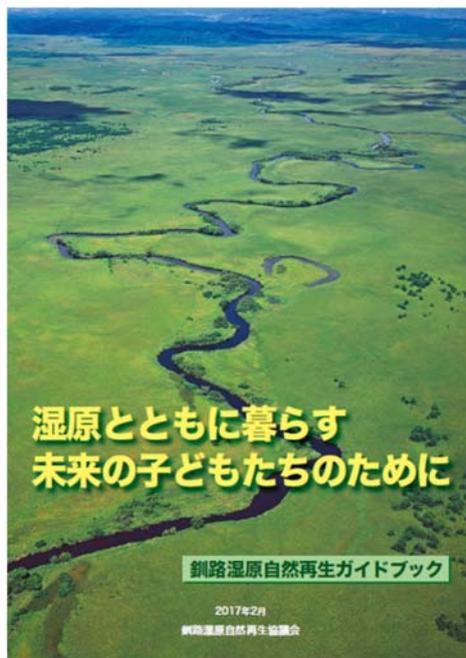


図 釧路湿原自然再生ガイドブック



# 第11回いい川・いい川づくりワークショップ全国大会

in北海道十勝

- 開催日：平成30年12月1日(土)～2日(日) 全国各地より**34**団体が参加
- 主催：いい川・いい川づくり実行委員会
- 共催：国土交通省/北海道/帯広市/池田町/音更町/幕別町/帯広畜産大学/帯広大谷短期大学ほか
- 参加：**北海道標茶高等学校** 「川とひとをつなぐ場をわたしたちの高校で」  
**環境コンサルタント(株)** 「カヌーDE清掃in達古武湖～釧路湿原の自然再生に参加しよう～」
- 結果：**グランプリ**(1団体) **北海道標茶高等学校**

## □ いい川・いい川づくりワークショップ全国大会とは

- ◇ 全国の川や水辺に関する市民・行政が参加して1998年スタート。今年は帯広開催。
- ◇ テーマはさまざまな水辺、山や里、下水道、雨水の分野、水循環、防災、まちづくり、福祉、教育など。全国の湿原や湿地も対象。
- ◇ 全国から水辺に関わる方々が集まり、市民や子ども達、民間団体、企業が活動PRする大会。



標茶高等学校 発表の様子



標茶高等学校 グランプリ獲得



環境コンサルタント(株) 発表の様子

# カヌーDE清掃in達古武湖 「釧路湿原の自然再生に参加しよう」



釧路湿原：北海道東部に位置する日本最大の湿原（258km<sup>2</sup>）  
 国立公園に指定され、**日本第一号のラムサール条約登録湿地**  
 タンチョウやイトウなどの希少な野生生物の生息地



釧路湿原は周辺の開発や外来生物により生態系に様々な影響を受けており、豊かで価値のある自然生態系を保全するために「釧路湿原自然再生協議会」が発足しました。しかし、広大な自然を保全するためには様々な人たちの協力が必要です。そこで、市民や各種団体の参加協力を得るために、具体的な取り組みを公募しています。これらの計画、取り組みを総じて「**ワンダグリンダ・プロジェクト**」とよんでいます。

## 当社が行う「ワンダグリンダ・プロジェクト」の取り組み

### ■ 目的：環境保全、普及啓発

### ■ 地点：達古武湖

- 釧路湿原北西部に位置する湖
- 湖の富栄養化により、流出先の釧路川の水質及び生態系への影響が懸念されている
- ヒシ（浮葉植物）の分布が拡大し、生態系への影響が懸念されている

### ■ 参加者：地域住民（公募）、当社社員

### ■ 活動内容：湖内清掃、ヒシの実試食会

- カヌーに乗り湖内の清掃を実施
- 防除したヒシの有効活用のため、ヒシの実を使用した料理の試食会を実施



当社では、自然と触れ合いながら自然再生を身近なものに感じていただくことを大切にしたいと考えています。  
 一般の皆さんが気軽に参加できる雰囲気作りを心がけ、湿原再生へ興味を持っていただく第一歩となるよう取り組んでいます。

## 当社以外の「ワンダグリンダ・プロジェクト」の取り組み

- 「釧路湿原川レンジャー」  
特定外来生物オオハングソウ防除と釧路川での活動報告等
- 「釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会」  
特定外来生物ウチダザリガニの捕獲・計測と試食会



ふりがな 川や水辺の名称	たっこぶこ 達古武湖 ( 釧路川 水系)	活動や事業の名称または応募に当たってのテーマ	
		カヌーDE清掃in達古武湖 「釧路湿原の自然再生に参加しよう」	
所在地	北海道 釧路郡釧路町		
応募者名(ふりがな) 所属団体名	かんきょうこんさるたんとかぶしきがいしゃ 環境コンサルタント株式会社	(記入不要) エントリーNo.	113

# 川とひとつをつなぐ場をわたしたちの高校で

藤本安理・河合玲那・佐々木柊威(北海道標茶高等学校 地域環境系列 ガイドゼミ)

## 1.はじめに



自然環境のガイド



標茶高校校舎

### (1)活動目標

SDGs (持続可能な開発目標)

- ・4 質の高い教育をみんなに
- ・11 住み続けられるまちづくりを
- ・15 陸の豊かさを守ろう

の実現

### (2)活動方法

- ・定期的な水質調査と植生調査
- ・中学生への水質調査の指導
- ・豊かな自然環境を生かしたガイド
- ・地域の方へのフットパスの実施

## 2.活動報告

### (1)軍馬川について

軍馬川は標茶高校敷地内(255ha)の軍馬山(約180ha)にあります。源流から釧路川までは約1kmで川幅は約0.5~1mです。また、源流部近くに水深5-10cm、川幅約4mと浅く広がる場所や軍馬補充部時代に使用したと思われる水深最大3mのろ過池や浄水施設があります。さらに約200m下と15年前に人工的に作った沈砂ゾーンと脱窒湿地(ミニ湿原)があり、川の蛇行やオオカサスゲによる脱窒を利用した水質浄化システムを通過後、用水路から釧路川へと続きます。



軍馬川源流



校舎から軍馬川源流へのフィールド

### (2)水質調査(COD)

ガイドゼミによる調査結果(H30.5.11-7.6)

4地点のCODバックテストの結果										
a) 軍馬川源流 COD 3.6						b) 沈砂ゾーン COD 4.5				
NO.	日付	天気	前日天気	気温(°C)	水温(°C)	1回目	2回目	3回目	平均	備考
1	5月11日	晴	曇	15.0	8.0	1	5	0	2.0	
2	5月25日	雨	晴	12.0	7.5	2	8	4	4.7	
3	5月29日	雨	曇	15.5	9.5	※	4	4	4.0	
4	6月3日	晴	曇	18.0	7.5	7	5	6	6.0	
5	6月13日	曇	曇	10.0	7.0	※	1	3	2.0	
6	6月29日	雨	晴	14.0	9.0	5	3	0	2.7	
7	7月6日	晴	雨	19.0	6.0	4	4	4	4.0	
※明らかにサンプルの水量が少なく、適切に評価できなかったもの										
<b>3.6</b>										
c) 脱窒湿地 COD 5.3						d) 用水路 COD 6.8				
NO.	日付	天気	前日天気	気温(°C)	水温(°C)	1回目	2回目	3回目	平均	備考
1	5月6日	雨	曇	10.2	9.6	5	4	4	4.3	
2	5月11日	雨	曇	12.0	9.0	5	0	0	1.7	
3	5月25日	雨	曇	10.5	8.5	7	7	7	7.0	
4	5月31日	雨	曇	15.8	10.0	8	8	8	8.0	
5	6月3日	晴	曇	17.5	11.5	3	3	0	2.0	
6	6月13日	曇	曇	11.0	8.0	8	3	7	6.0	
7	6月29日	雨	晴	15.0	9.5	7	5	4	5.3	
8	7月6日	晴	雨	19.0	14.0	7	8	8	7.7	
<b>5.3</b>										

### (3)植生調査

ミニ湿原での調査結果(H30.5.31-7.7)

No	科名	種名	5月31日	6月10日	6月14日	6月17日	6月21日	6月24日	7月6日	7月7日	No	科名	種名	5月31日	6月10日	6月14日	6月17日	6月21日	6月24日	7月6日	7月7日
1	アカネ	ヨツバムグラ									24	スミレ	ツボスミレ								
2	アブラナ	オランダガラシ									25	スミレ	ヒカゲスミレ								
3	アブラナ	コンソクソウ									26	ツゲ	フックソウ								
4	アブラナ	ナスビ									27	ナデシコ	エゾオヤマハコベ								
5	アブラナ	ワサビ									28	ナデシコ	オオヤマフスマ								
6	イネ	スズメノカタビラ									29	ナデシコ	ミニナグサ								
7	イラクサ	エゾイラクサ									30	ナデシコ	ミヤマハコベ								
8	キク	アキタブキ									31	バラ	エノキマツケラ								
9	キク	アザミ									32	バラ	オオダイコンソウ								
10	キク	セイヨウタンポポ									33	バラ	カラフトダイコンソウ								
11	キク	ヒメジョオン									34	バラ	ホザキシモツケ								
12	キク	ミミコモリ									35	バラ	ミツバツグリ								
13	キク	ヨブスミノク									36	マメ	シロツメクサ								
14	キンポウゲ	エゾカタマツ									37	ムラサキ	エゾムラサキ								
15	キンポウゲ	シロタンキンポウゲ									38	ユキノシタ	エノネコノメソウ								
16	キンポウゲ	バイカモ									39	ユリ	オウユバユリ								
17	キンポウゲ	ミヤマカタマツソウ									40	ユリ	オオバノエンレイソウ								
18	ケシ	クサノオウ									41	ユリ	ギョウケシキョニンコ								
19	ケシ	ムラサキマン									42	ユリ	クロユリ								
20	ゴマノハグサ	チヂミノフグリ									43	ユリ	バイケイソウ								
21	ゴマノハグサ	ミノホオヅキ									44	ユリ	マイヅルソウ								
22	スゲ	オオカサスゲ									45	ユリ	ユキザサ								
23	スミレ	エゾノタツツボスミレ									46	ラン	コケイラン								



### (4)地域との交流(水質調査やガイド)

ガイドは宿泊研修のプログラムとして来校した中学生に3回、私たちが企画した標茶高校満喫ツアー参加者に5回と計8回実施することができました。中学生からは「水に入った時に足が「キツツ」してしまるのが気持ちよかったです。ガイドが面白くてわかりやすかったです。」「普段なかなか触れることのできない大自然を見ることができ、とても楽しかったです。また参加したい。」「フットパスのことを知れた。自然の中の空気がすごくキレイだったと思う。また行きたい。」などの感想をいただきました。地域の方からは「水道用施設が九州と同じようなものと驚く。水が綺麗だった。」「生徒さんたちがとても頼もしかったです。植物や外来種に興味があるので、さらに専門知識を身につけて欲しいです。13期生ですので大昔のことも思い出しながら歩くことができました。」「水源のあたりの風景にビックリ！？わさびもあり、清流・コケ・木々・鳥の音・全部素敵でした。」などの感想をいただきました。

※標茶高校自然満喫ツアー&中学生へのガイド等アンケート結果☆

- |                           |     |        |     |
|---------------------------|-----|--------|-----|
| 1 参加人数                    | 72人 | 2 平均年齢 | 34歳 |
| 3 体験前のご意見について             |     |        |     |
| (1) 自然の中を歩くことは好きでしたか?     | はい  | 89%    |     |
| (2) 自然は好きでしたか?            | はい  | 96%    |     |
| (3) フットパスを知っていますか?        | はい  | 35%    |     |
| (4) 湿原に入ったことありましたか?       | はい  | 57%    |     |
| 4 体験後のご意見について             |     |        |     |
| (1) フットパスは楽しかったですか?       | はい  | 100%   |     |
| (2) ガイドはわかりやすいものでしたか?     | はい  | 100%   |     |
| (3) 行く前と比べ自然が更に好きになりましたか? | はい  | 99%    |     |
| (4) また参加したいと思いませんか?       | はい  | 100%   |     |



## 3.おわりに



「自然を好きになれた」「知らない花の名前を知れた」という感想から、アクティビティを通じた学習と自然の良さを理解してもらえた



「自然の中の空気がすごくきれいだった」「源流のきれいさがわかった」という感想から、町の飲み水や空気のきれいさを感じてもらえた



「このような自然が近くにあるのは大変幸せなこと」「普段観ることのできない大自然を観ることができた」という感想から、自然の尊さを感じてもらえた

ふりがな 川や水辺の名称	ぐんばがわ 軍馬川 (釧路川水系)	活動や事業の名称または応募に当たってのテーマ
所在地	北海道標茶町常盤10丁目1番地	川とひとつをつなぐ場を私たちの高校で
応募者名(ふりがな) 所属団体名	ほっかいどうしべちゃこうとうがっこう 北海道標茶高等学校	(記入不要) エントリーNo.